

Axis装着式ソリューション

Axis装着式ソリューション

AXIS W800 System Controller

AXIS TW1200 Mini Bullet Sensor

ユーザーマニュアル

Axis装着式ソリューション

目次

これはAxis装着式ソリューションです。	4
最新のリリースの最新情報	5
はじめに	6
システムの設置	7
システムの設定	8
初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする	8
安全なパスワード	9
AXIS Body Worn Managerを開きます	9
コンテンツ送信先	9
システムの拡張	10
システムバックアップを設定する	11
カメラプロファイル	12
ユーザーの作成	17
ユーザーのインポート	18
カメラを追加する	18
カメラへのユーザーの割り当て	18
ライブビデオをAXIS Body Worn Liveにストリーミングする	21
録画を自動的に開始する	21
位置情報の記録	23
録画へのアクセスを制限する	24
クラウド拡張機能(Cloud extensions)	24
システムの保護	31
署名付きビデオ	31
証明書	31
ユーザーの管理	34
ユーザーの削除	34
ユーザーのエクスポート	34
システムの監視	35
ダッシュボード	35
カメラ使用状況レポートのダウンロード	39
システムコントローラストレージを監視する	39
カメラがドッキング解除されていた期間の確認	39
証明書の有効期限が切れたカメラの概要の取得	39
電子メール通知の設定	40
システムのメンテナンス	41
パスワードの変更	41
管理者アカウントの追加	41
システムレポートのダウンロード	41
カメラを別の装着式システムに移動	41
接続ファイルを変更する	42
システムからハードウェアを削除する	42
システムハードウェアの交換	44
システムまたはハードウェアをリセットする	44
ペアリングされた機器を削除する	45
システムのリストア	45
システムコントローラから録画を取得する	48
日付と時刻を調整	48
システムファームウェア	48
システムコントローラ	51
製品の概要	51
日常的な使用	52
Axis装着式カメラ	54
カメラに関する情報を検索する	54
AXIS Body Worn Assistant	55
カメラユーザーをAXIS Body Worn Assistantとペアリングします。	55
既存のペアリングの削除	56
AXIS Body Worn Assistantを装着式カメラに接続します。	56

Axis装着式ソリューション

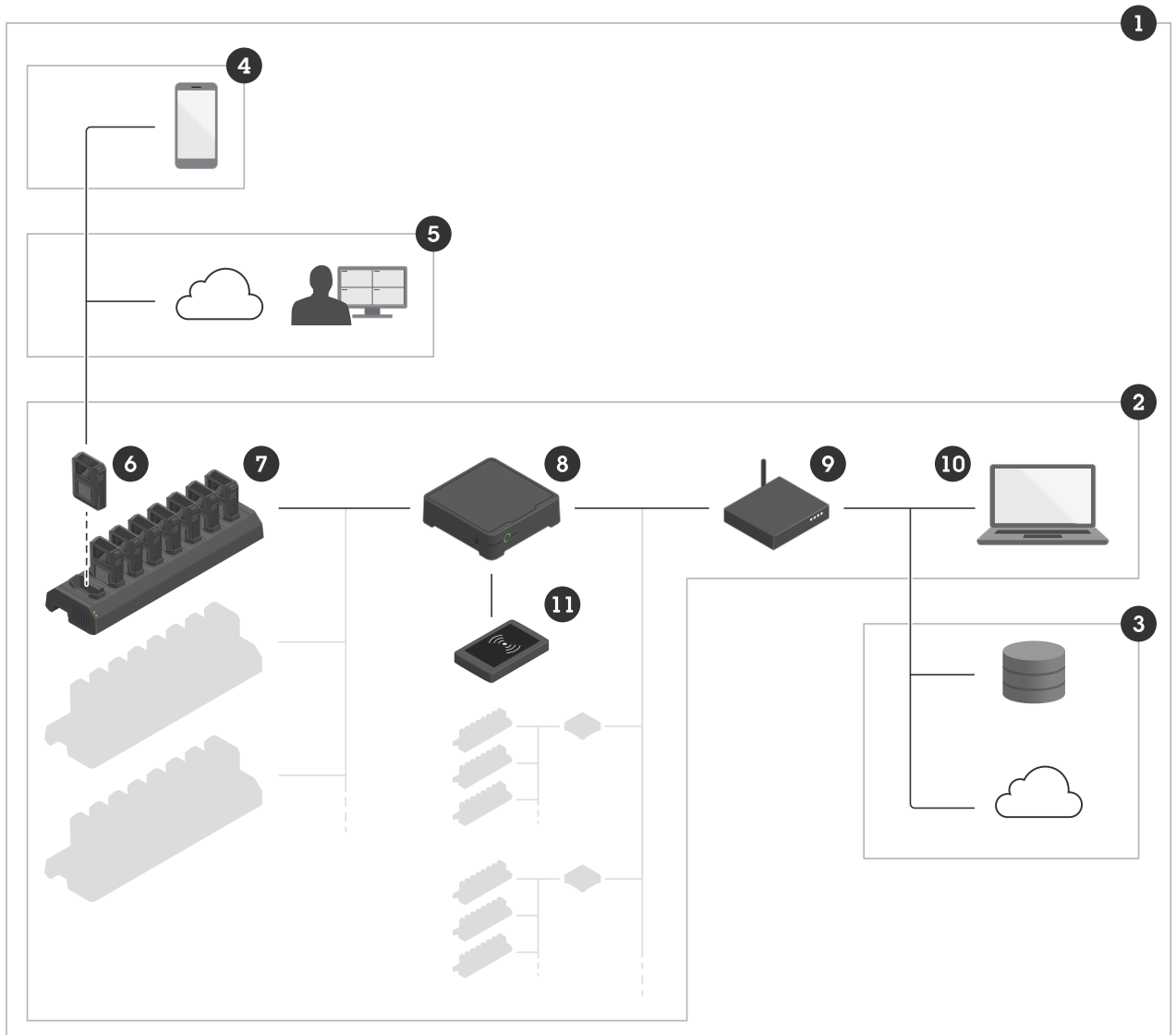
目次

AXIS Body Worn Assistantユーザーガイド	56
トラブルシューティング	58
技術的な問題、ヒント、解決策	58
一般的なトラブルシューティングの手順	61
さらに支援が必要ですか?	61

Axis装着式ソリューション

これはAxis装着式ソリューションです。

これはAxis装着式ソリューションです。



Axis装着式ソリューション

- 1 装着式ソリューション
- 2 装着式システム
- 3 コンテンツ送信先
- 4 AXIS Body Worn Assistant
- 5 AXIS Body Worn Live
- 6 装着式カメラ
- 7 ドッキングステーション
- 8 システムコントローラー
- 9 ネットワーク
- 10 AXIS Body Worn Manager

Axis装着式ソリューション

これはAxis装着式ソリューションです。

11 RFIDリーダー (オプション)

Axis装着式ソリューション (1) - は、コンテンツ送信先 (3) に接続された1台以上のAxis装着式システム (2) です。この装着式システムは、コンテンツ送信先に接続されているときにのみ機能します。

Axis装着式システム (2) - は、Axis装着式カメラ (6)、Axisドッキングステーション (7)、Axisシステムコントローラー (8)、AXIS Body Worn Manager (10) で構成されます。

AXIS Body Worn Manager (10) - は、装着式システムを設定して管理できるWebアプリケーションです。

AXIS Body Worn Assistant (4) - は、装着式カメラに直接接続されたモバイル装置のためのアプリケーションで、録画したビデオを見ることなどができます。詳細については、55ページ、*AXIS Body Worn Assistant* を参照してください。

AXIS Body Worn Live (5) - は、装着式カメラのユーザーがWi-Fi®またはモバイルネットワークを使用してライブビデオをストリーミングするクラウドソリューションです。詳細については、*AXIS Body Worn Live* ユーザーマニュアルを参照してください。

オプションのRFIDリーダー (11) - は、システムコントローラーに接続できません。このオプションを使用すると、カメラのユーザーは自己割り当てタグを使用して、利用可能な任意の装着式カメラの自己割り当てを行うことができます。

カメラをドッキングステーションに設置すると、ドッキングステーションはカメラのバッテリーを充電し、カメラをシステムに接続します。その後、システムコントローラーは、カメラから選択したコンテンツの保存先まですべてのデータをシームレスに転送します。また、最新のファームウェアと設定を使用してカメラを最新状態に維持し、Axis装着式ソリューションの健全性を監視します。

このシステムは、証拠管理システム (EMS)、ビデオ管理システム (VMS)、メディアサーバーなど、さまざまなタイプのコンテンツ送信先によってサポートされています。装着式統合APIを使用して、サードパーティのVMSまたはEMSとの統合を行うことができます。axis.com/developer-communityに移動して、Axis開発者コミュニティに参加し、Body Worn Integration APIのドキュメントにアクセスしてください。

最新のリリースの最新情報

Postbuffer (ポストバッファ)

ポストバッファを使用すると、カメラユーザーが録画を停止した後も、カメラは限られた時間録画を継続します。それでも、カメラには録画が停止したことが表示されます。この機能により、録画が停止したことを知った人が行動を変えた場合に備えて、完全なコンテキストを得ることができます。カメラのプロファイル設定でポストバッファをオンにすることができます。

常時録画

カメラユーザーが録画を開始するのを忘れないことが重要な状況では、常時録画機能を使用できます。常時録画では、カメラはドッキングを解除するとすぐに録画を開始します。録画を停止するには、電源ボタンでカメラの電源をオフにする必要があります。録画ボタンは、ブックマークの作成やライブストリームの停止にのみ使用できます。

[Postbuffer (ポストバッファ)] と [Always record (常時録画)] は、13ページカメラプロファイルの設定内にあります。

Axis装着式ソリューション

はじめに

はじめに

システムをインストールして構成するための推奨ワークフローは次のとおりです。

1. 7ページ、システムの設置
2. AXIS Body Worn Managerを開き、システム設定を行います。8ページ初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスするを参照してください。
3. 12ページカメラプロファイルの編集
4. 17ページユーザーの作成
5. 18ページカメラを追加する
6. 固定カメラの割り当てを使用している場合は、特定のカメラへのユーザーの割り当てを参照してください。または、自己割り当てによるカメラの割り当てを使用している場合は、自己割り当てによるカメラの割り当てを設定するを参照してください。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

help.axis.com/?&pid=58704§ion=this-is-the-axis-body-worn-solution

Axis装着式ソリューションを開始する

システムコントローラーを追加して、40台以上のカメラをシステムに追加することができます。拡張システムコントローラーは、既存のシステムのインスタンスになります。すべての設定は、システムから拡張システムコントローラーに継承されます。拡張システムコントローラーに追加されたユーザーとカメラは、AXIS Body Worn Managerを通して管理されます。システムコントローラーを追加してシステムを拡張する方法については、システムの拡張を参照してください。

Axis装着式ソリューション

システムの設置

システムの設置

注

このようなハードウェアコンポーネントが必要な場合、装着式システムをインストールします。

- システムコントローラー
 - ドッキングステーション
 - 装着式カメラ
 - コンピューター
 - 自己割り当てによるカメラの割り当てで使用するオプションのRFIDリーダー。
 - ネットワークケーブル
 - また、UPS (無停電電源装置) を使用して、予期しないシステムシャットダウンを回避することもお勧めします。
1. システムコントローラーをお使いのネットワークに接続します。
 2. ドッキングステーションをシステムコントローラーの [Docking stations (ドッキングステーション)] ポートに接続します。
 3. 必要に応じて、RFIDリーダーをシステムコントローラーのUSBコネクタに接続します。
 4. システムコントローラーと同じネットワークにコンピューターを接続します。
 5. 装置の電源を入れます。
 6. カメラをドッキングします。
 7. 8 ページ、システムの設定に進みます。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

システムの設定

初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスする

注

- AXIS IP Utilityバージョン4.14以降を使用してください。AXIS IPユーティリティは、ネットワーク上のAxis装置を見つけるのに便利です。装置は名前、IPアドレス、シリアル番号によって識別されます。
- 始める前に、以下のものがあることを確認してください。
 - 最新の利用可能なファームウェア。パッケージはaxis.comからダウンロードできます。ファームウェアにアクセスするには、My Axisアカウントが必要です。
 - 利用可能なコンテンツ送信先の接続ファイル。コンテンツ送信先を参照してください。

1. お使いのネットワークのシステムコントローラーを検索します。

- 1.1 axis.com/support/software/に移動し、AXIS IP Utilityをダウンロードします。
- 1.2 AXIS IP Utilityを起動します。
- 1.3 シリアル番号を使用して、リスト内でシステムコントローラーを見つけます。シリアル番号は、システムコントローラーの底部、またはシステムコントローラーボックスのラベルに記載されています。
- 1.4 検索結果の一覧で、システムコントローラーをダブルクリックします。ブラウザーでAXIS Body Worn Managerが開きます。

2. ウィザードの指示に従って、システムを設定します。

- 単一のシステムコントローラー設定を構成している場合、またはマルチシステムコントローラーの設定で最初のシステムコントローラーを設定している場合は、**[Create a new system (新しいシステムの作成)]**を選択します。既存のシステムに複数のシステムコントローラーを追加する場合は、**[Extend an existing system (既存のシステムを拡張する)]**を選択します。このステップでは、装着式システムで使用する言語を選択することもできます。
- 管理者アカウントを作成します。管理者ユーザー名はrootです。
- 最新のファームウェアをインストールします。ファームウェアはaxis.comからダウンロードできます。装着式システム用にさまざまなファームウェアトラックがサポートされています。これにより、**Latest (active) (最新の(アクティブな))** ファームウェアトラックからのすべての最新機能が必要とする場合でも、**Long-term support (LTS) (長期サポート (LTS))** ファームウェアトラックからの安定性を優先させる場合でも、システムに最適なファームウェアを選択できます。詳細については、[48ページシステムファームウェア](#)を参照してください。
- 装着式システムに名前を付けます。これにより、コンテンツ送信先や異なるクラウドサービス内での識別が容易になり、重要なシステムイベントに関する電子メール通知を受け取る際にも簡単に識別できます。システム名はAXIS Body Worn Managerの**[Settings (設定)]**で変更できます。
- ネットワークを設定します。
- 日付と時刻。時刻を正しく設定することは、いくつかの理由から重要です。詳細については、[48ページ日付と時刻を調整](#)を参照してください。
- クラウド拡張機能。装着式システムには、すぐに使用可能な標準機能がセットされています。クラウド拡張機能は、たとえば位置情報データのパフォーマンスを向上させるなど、クラウドを利用した追加機能のセットです。AXIS Body Worn Managerのクラウド拡張機能はいつでも有効にすることができます。ただし、一度有効にすると、システムをリセットせずにCloud extensionsをオフにすることはできません。詳細については、[24ページクラウド拡張機能\(Cloud extensions\)](#)を参照してください。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

- 接続ファイルは、本体の装着システムをコンテンツの保存先に接続します。コンテンツの保存先には、録画とメタデータが保存され、管理されています。装着式システムは、接続されるとコンテンツの保存先にロックされます。コンテンツの保存先を変更するには、まず装着式システムをリセットする必要があります。詳細については、9ページコンテンツ送信先を参照してください。
- **スーパーアドミンパスワード**は、装着式システムのセキュリティを強化します。システムの復元など、システムの重要な操作には、スーパーアドミンパスワードによる認証が必要です。これは、装着式システムとセーフモード中のカメラの間の接続を再確立するときにも必要です。このパスワードは変更できません。
- **システム復元キー**は重要なセキュリティ機能です。装着式システムでは、特定の操作のためにシステム復元キーが必要です。これらの操作には、故障したシステムコントローラーの交換後に、装着式システムと既存のカメラ間の接続を再確立することなどが含まれます。**システム復元キー**をコンピューターにダウンロードし、安全な場所に保存します。
- お客様の地域で使用されている電源周波数を選択します。正しい周波数が使用されていると、画像のちらつきが少なくなります。アメリカ地域では、通常60 Hzが使用されています。世界の他の部分では、ほとんどの場合50 Hzで使用されています。お客様の地域の電源周波数がわからない場合は、地方自治体に確認してください。
- カメラは2つの方法でユーザーに割り当てることができます。**[Fixed (固定)]**カメラの割り当ての場合、各ユーザーは1台の特定のカメラに手動で割り当てられます。**[Self-assign (自己割り当て)]**の場合、カメラユーザーはシステムに接続されたRFIDリーダーの自己割り当てタグをタップして、利用可能な任意のカメラを選択します。システムをリセットせずに**[Fixed (固定)]**と**[Self-assign (自己割り当て)]**を切り替えることはできません。**[Self-assign (自己割り当て)]**では、システムでユーザーをローカルにまたはグローバルにカメラに割り当てることができます。この設定を完了すると、**[Settings (設定)]**でこのオプションを使用できます。詳細については、18ページカメラへのユーザーの割り当てを参照してください。

安全なパスワード

重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用される可能性があることから、パスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことを強く推奨します。

- 8文字以上のパスワードを使用する(できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する(少なくとも年に1回)。

AXIS Body Worn Managerを開きます

1. ブラウザーを開き、システムコントローラーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
IPアドレスが不明な場合は、8ページ初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスするを参照してください。
2. ユーザー名と管理者パスワードを入力します。
ブラウザーでAXIS Body Worn Managerが開きます。

注

デフォルトの管理者アカウントのユーザー名はrootです。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

コンテンツ送信先

コンテンツ送信先は、録画とメタデータを保存および管理します。たとえば、送信先はEMS (証拠管理システム)、VMS (ビデオ管理システム)、メディアサーバーなどになります。Axis装着式ソリューションは複数の異なるコンテンツ送信先に対応しています。

すべてのコンテンツ送信先には、Axis装着式システムと統合するための接続ファイルが必要です。接続ファイルは、コンテンツの保存先に生成されます。接続ファイルを生成する方法については、コンテンツ送信先のユーザーヘルプを確認してください。

コンテンツ送信先との接続には、ネットワーク通信が正しく動作していることも必要です。たとえば、プロキシ、ファイアウォール、ウイルス対策が適切に設定されている必要があります。

重要

装着式システムの時刻およびタイムゾーンは、コンテンツ送信先の時刻およびタイムゾーンと常に一致している必要があります。48ページ日付と時刻を調整を参照してください。

AXIS Camera Station に接続する

AXIS Camera StationをAxis装着式システムに組み合わせる方法については、*AXIS Camera Station Integrator Guide*を参照してください。

AXIS Case Insight に接続

Axis装着式システムをAXIS Case Insightと統合する方法については、*AXIS Case Insight System Integrator Guide*を参照してください。

サードパーティ製アプリケーションとの統合

Genetec Security Centerとの統合方法については、*Body worn integration Genetec*を参照してください。また、Milestone XProtect®との統合方法については、*AXIS Optimizer Body Worn Extension*を参照してください。

注

- 装着式システムは、ユーザーを追加、削除、変更した場合や、カメラ名を変更した場合にコンテンツ送信先に変更をプッシュします。このタイプの通信は単方向です。つまり、コンテンツの送信先は対応する変更を装着式システムにプッシュしません。
- 装着式システムを使用するには、事前にコンテンツの保存先に接続する必要があります。
- 接続ファイルは、コンテンツ送信先に接続されてからご使用のコンピューターから削除することをお勧めします。
- 装着式システムは、接続されるとコンテンツ送信先にロックされます。コンテンツの保存先を変更するには、まず装着式システムをリセットする必要があります。
- 装着式システムをリセットする前に、コンテンツの保存先を絶対に削除またはリセットしないでください。必ず装着式システムを最初にリセットしてください。最初にコンテンツの保存先を削除またはリセットすると、録画がカメラまたはシステムコントローラーに残り、装着式システムをリセットできなくなります。これは、すべての証拠がコンテンツの保存先にアップロードされるようにするセキュリティ機能です。

AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付ける

AXIS Case Insightに転送された録画は、ユーザーに関連付けられます。AXIS Case Insightユーザーは、カメラを装着している人(カメラユーザー)に対応しています。関連付けにより、ケース作成時などに、特定の人が行った録画を検索して収集することが容易になります。

AXIS Case Insightで録画をユーザーに関連付ける方法については、17ページユーザーの作成を参照してください。

システムの拡張

- 新しいシステムコントローラーを既存のボディの磨耗したシステムと同じネットワークに接続します。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

2. 新しいシステムコントローラーにアクセスします。初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスするを参照してください。
3. [Extend an existing system (既存のシステムを拡張する)] を選択します。
4. 管理者パスワードを作成し、[Okay (OK)] をクリックします。
5. 最初に作成した装着式システムコントローラーのIPアドレスを入力し、[Connect (接続)] をクリックします。

注

拡張システムコントローラーのファームウェアバージョンが既存のシステムよりも新しい場合は、既存のシステムをアップグレードするか、拡張システムコントローラーをダウングレードするように求められます。


6. 新しいシステムコントローラーを装着式システムに追加します (システムコントローラーを追加するを参照)。

注



- ・分散システムでは安定したネットワーク接続が必要です。接続が悪いと、たとえば、ユーザーがカメラを自己割り当てできないことがあります。
- ・装着式システムは、1つのタイムゾーンをサポートします。録画の日付と時刻は、拡張システムコントローラーとカメラがある場所のタイムゾーンに関係なく同じです。

システムコントローラーを追加する

1. 新しいシステムコントローラーをインストールします。システムの拡張を参照してください。

2.  に移動します。
3. [システムコントローラー] リストで、[New (新規)] をクリックします。
4. [Add system controllers (システムコントローラーの追加)] リストで、追加するシステムコントローラーを選択し、[Add (追加)] をクリックします。

新しいシステムコントローラーにアクセスするには:

1.  に移動します。
2. アクセスする拡張システムコントローラーを開きます。
3. コンテキストメニュー  を開きます。
4. [Open] (開く) をクリックします。

システムバックアップを設定する

システムバックアップにより、すべての設定が拡張システムコントローラーに保存されます。まれな状況として、システムを最初に作成したシステムコントローラーが故障した場合でも、装着式システムをリストアップすることができます。バックアップには、すべてのユーザー、カメラプロファイル、カメラの割り当て、およびシステム設定が含まれます。バックアップは24時間ごとに自動的に更新されます。システムバックアップは、複数のシステムコントローラーを備えたシステムで利用できます。

Axis装着式ソリューション

システムの設定





このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

help.axis.com/?&pid=58704§ion=configure-the-system-backup

Axisの装着式システムのバックアップとリストア

システムバックアップを設定するには:

1.  > [System backup (システムバックアップ)] に移動します。
2. [Configure (設定)] をクリックします。
3. [System controller backup (システムコントローラーのバックアップ)] を選択します。
4. バックアップを保存する拡張システムコントローラーを選択します。
5. [Save (保存)] をクリックします。

スケジュールされたバックアップを待たなくても、いつでもシステムを手動でバックアップできます。これにより、すべてのデータと設定を必要に応じて保存できます。手動でバックアップを開始するには、 > [System backup (システムバックアップ)] に移動し、[Backup now (今すぐバックアップ)] をクリックします。

注

- バックアップには録画された証拠は含まれません。
- バックアップシステムコントローラーに物理的にラベルを付けることをお勧めします。これは、まれな状況としてシステムが最初に作成されたシステムコントローラーが故障した場合に、それを識別する方法になります。
- バックアップを行うには、複数のシステムコントローラーを備えた装着式システムが必要です。



システムを復元する場合は、46ページ複数のシステムコントローラーを使用したシステムをリストアするを参照してください。

システムバックアップの同期に失敗した場合、システム通知を受け取ることができます。40ページ電子メール通知の設定を参照してください。

カメラプロファイル

カメラプロファイルを使用して、1つのユーザーグループに同じカメラの設定を適用します。たとえば、昼と夜のシフトに異なるプロファイルを作成できます。新しいユーザーには、デフォルトのカメラプロファイルが割り当てられます。

カメラプロファイルの編集

1.  に移動し、設定済みのカメラプロファイルの1つをドロップダウンメニューから選択します。
2.  をクリックして、選択したカメラプロファイルを編集します。


Axis装着式ソリューション






システムの設定

3. カメラプロファイルの **[Name (名前)]** を編集します。
4. カメラプロファイルの **Description (説明)** を入力します。
5. このカメラプロファイルを持つユーザーのカメラ割り当てに利用できるようにするカメラを選択します。
6. **[Done (完了)]** をクリックします。
7. リスト内の装置を展開して **13ページカメラプロファイルの設定** を編集します。

カメラプロファイルの設定





AXIS Body Worn Cameras

このセクションで説明する機能と設定のサポートは、カメラモデルによって異なります。このアイコン  は、機能または設定が一部のカメラモデルでのみ使用できることを示しています。

Video (ビデオ)	Image quality (画質)	<ul style="list-style-type: none">• 720p• 720p high (720p 高) • 1080p。プリバッファは最大90秒に制限されます。• 1080p high (1080p 高) 。プリバッファは最大60秒に制限されます。 <p>high (高)設定では圧縮率が低く、シャープネスが向上し、ビットレートがより高くなります。これらの設定は、インシデントベースの録画に適しています。</p>
	電子動体ブレ補正 	揺れや振動による影響を最小限に抑え、より滑らかで安定した画像を提供します。
	Barrel distortion correction (たる型歪曲の補正) 	たる型歪曲とは、映像が外側に向かって曲がったように見えるレンズ効果のことです。 [Barrel distortion correction (たる型歪曲の補正)] をオンにすると、よりまっすぐな画像が得られます。
Audio (音声)	録画の音声を含みます。	
	Optimization (最適化)	<ul style="list-style-type: none">• None (なし) - 音声を最適化しません。• Post-processing (後処理) - 圧縮率を下げてデュアル音声チャンネルで音声を録音します。フォレンジック音声分析に適しています。後処理によりビットレートがより高くなります。• Voice (声)  - 単調な環境音をフィルタリング



Axis装着式ソリューション

システムの設定

		して、録画内の声を分離します。
Standby mode (スタンバイモード) 	録画していないときはカメラを省電力モードにします。これにより動作時間が延びます。プリバッファをスタンバイモードと一緒に使用することはできません。	
プリバッファ	プリバッファにより、録画開始前に録画時間を追加してイベント全体を確実にキャプチャーできます。 プリバッファには、カメラストレージに専用のスペースがあります。動きが激しい、または低光量の非常に複雑な撮影シーンで最大解像度1080pを使用すると、プリバッファメモリーがいっぱいになる可能性があります。メモリーがいっぱいになると、プリバッファ時間が設定よりわずかに短くなります。	
	Length (長さ)	プリバッファ長: 15、30、60、90、または120秒。オプションの120秒は、720pの画質でのみ使用できます。
	Audio (音声)	プリバッファの音声を含みます。
ポストバッファ	カメラユーザーが録画を停止した後、録画を続行します。それでも、カメラには録画が停止したことが表示されます。 [Audio (音声)] で音声をオンにすると、音声はポストバッファに含まれます。	
	Length (長さ)	ポストバッファ長: 10、30、60秒。
Location (位置情報)  アシストGNSS (エフェメリス) が有効	カメラの地理的位置情報を座標として保存します。 屋内では使用しないでください。 消費電力が増えます。	
	Power saving mode (省電力モード) 	位置情報モードを [Start and end (開始と終了)] のみに制限します。位置情報モードのTrack (追跡) を許可するには、省電力モードをオフにします。
	Mode (モード)	<ul style="list-style-type: none"> • Start and end (開始と終了) - 録画の開始および終了時のカメラの地理的位置情報を記録します。 • Track (追跡)  - 録画全体でカメラの地理的位置情報を継続的に記録します。追跡モードは、コンテンツ送信先でサポートされている場合にのみ利用できます。





Axis装着式ソリューション

システムの設定

Overlay (オーバーレイ)	オーバーレイは、ビデオストリームに重ねて表示されます。これらは、録画で追加情報を提供するために使用されます。	
	User name (ユーザー名)	カメラユーザーの作成時に入力した名前を表示します。
	User ID (ユーザーID)	カメラユーザーの作成時に入力したユーザーIDを表示します。
	Position (位置) 	<p>カメラの地理的位置情報を座標として表示します。[Location (位置情報)] がオンになっている必要があります。</p> <p>[Location > Mode (位置情報 > モード)] が [Start and end (開始と終了)] に設定されている場合、録画の開始時のカメラの位置情報を示すオーバーレイが表示されます。</p> <p>[Location > Mode (位置情報 > モード)] が [Track (追跡)] に設定されている場合、オーバーレイにはカメラの現在位置が表示されます。</p>
Recording activation (録画の有効化)	Recording button (録画ボタン)	<ul style="list-style-type: none"> • Single press (1回押す) - ユーザーがボタンを1回押すと録画を開始します。 • Double press (2回押す) - ユーザーがボタンを2回押すと録画を開始します。この設定は、AXIS TW1201 Mini Cube Sensor がカメラに接続されている場合にも適用されません。
	Always record (常時録画)	カメラユーザーがカメラをドッキング解除すると録画を開始し、再度ドッキングするまで録画を続けます。カメラユーザーは、録画ボタンを使用して録画を停止することはできません。ユーザーがカメラの電源をオフにすると、録画は停止します。カメラの電源をオンにすると、録画が自動的に開始されます。録画ボタンは、ブックマークの作成やライブストリームの停止に使用できます。
	Fall detection (落下検知)	カメラが落下を検知すると、録画が開始されます。
	Broadcast wireless signal (ワイヤレス信号をブロードキャストする) 	このカメラが録画を開始すると、近くにある他のカメラも録画を開始します。他のカメラで [Receive wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャストを受信する)] をオンにしている必要があります。


Axis装着式ソリューション

システムの設定

	Receive wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャストを受信する) 	近くのカメラから録画信号がブロードキャストされると、このカメラが録画を開始します。
Feedback (フィードバック)	Front recording indicator (フロント録画インジケータ) 	カメラが録画中のインジケータの状態: <ul style="list-style-type: none"> • None (なし) • Steady (点灯) • Flash (点滅) AXIS TW1201 Mini Cube Sensorを接続した場合、インジケータの動作はミニキューブセンサーの前面の録画インジケータに適用されます。
	Alert (アラート)	カメラからのフィードバック: <ul style="list-style-type: none"> • 振動 • 音声 • 音と振動 • Voice (声)  • Voice and vibration (声と振動) 
	Periodic reminder when recording is on (録画オン時の定期的なリマインダー)	録画中、カメラは一定の間隔で振動します。これは、リマインダーとしてだけでなく、カメラが録画中であることの確認としても機能します。これは主に、インシデントベースの録画に適しています。定期的なリマインダーの間隔を選択します。
	Periodic reminder when recording is off (録画オフ時の定期的なリマインダー)	録画がオフになっていると、カメラは定期的に振動してピープ音が鳴ります。これは特に、連続録画する場合に適しています。休憩後などに再び録画を開始するようユーザーに促すことができます。定期的なリマインダーの間隔を選択します。[Escalating (エスカレート)]をオンにすると、アラームの頻度が徐々に増えます。
	Low battery warning (バッテリー残量低下の警告)	バッテリー残量が0.5時間未満になると、カメラはフィードバックを返します。 <ul style="list-style-type: none"> • Once (1回): カメラは1回ピープ音が鳴り、カメラが振動します。 • Periodic (定期的): カメラは2分ごとに1回ピープ音が鳴り、カメラが振動します。 • Periodic reinforced (定期的に強まる): カメラは1分ごとに3回ピープ音が鳴り、振動します。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

Camera feature access (カメラ機能へのアクセス)	Allow silent mode (サイレントモードを有効にする) 	これにより、カメラユーザーはディスプレイ、前面の録画インジケータ、アラートをオフにすることができます。
	Allow microphone mute (マイクのミュートを許可する)	これにより、カメラのユーザーは音声録画をオフにすることができます。

AXIS TW1201 Mini Cube Sensor

Disable main camera recording button (メインカメラの録画ボタンを無効にする)	ミニキューブセンサーが接続されている場合、メインの装着式カメラの録画ボタン(録画の開始と停止に使用)を無効にします。ミニキューブセンサーの録画ボタンのみを使用する場合は、このオプションを選択します。
Rotate image 180 degrees (映像を180度回転)	映像を回転できることで、ミニキューブセンサーの取り付けの柔軟性が向上します。

AXIS Body Worn Assistant

Allow access to recordings (録画へのアクセスを許可する)	AXIS Body Worn Assistantでカメラユーザーが録画を表示できるかどうかを選択します。
--	--

AXIS Body Worn Live



装着式システムをAXIS Body Worn Liveに接続した場合のみ表示されます。

Streaming (ストリーミング)	カメラユーザーにAXIS Body Worn Liveへのストリーミングを許可するかどうかを選択します。詳細については、AXIS Body Worn Liveユーザーマニュアルのライブストリームを有効にするを参照してください。
---------------------	---

ユーザーの作成

システム内のカメラユーザーは、録画と装着式カメラを使用している人の間のリンクです。

ユーザーを作成するには:

-  に移動します。
-  をクリックして、新規ユーザーを追加します。
- 次のユーザー情報を入力します。
 - ユーザーの名前(オーバーレイに表示できます)。
 - 組織内でのユーザー固有のID(オーバーレイに表示できます)。
 - 必要に応じて、AXIS Case Insightユーザー名を入力します。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

注

- このオプションは、AXIS Case Insightを使用している場合にのみ表示されます。
- ユーザーの電子メールアドレスをユーザー名として入力すると、対応するゲストユーザーがAXIS Case Insight内に作成されます。このゲストユーザーは、システムに記録された証拠にアクセスできません。ユーザーのアクセス権は、AXIS Case Insightで管理されます。
- 既存のユーザーのユーザー名を変更することはできません。これを行うには、ユーザーを削除して再度追加する必要があります。

3.4 [Camera profile (カメラプロファイル)] を選択します。

4. [Add user (ユーザーの追加)] をクリックします。



ユーザーのインポート

装着式システムにより、カメラユーザーのデータをCSV UTF-8 (カンマ区切り) ファイルからインポートすることができます。これは、新しいユーザーを追加したり、ユーザーIDを使用して既存のカメラユーザーのユーザー名とカメラプロファイルを更新したりするための最も効率的な方法です。

ユーザーごとにRFIDを含めることもできます。つまり、自己割り当てのカメラ割り当てを使用している場合に、自己割り当てタグを個別にペアリングするのではなく、一度にすべてのユーザーにRFIDタグを関連付けることができます。


インポートする前に、すでに更新するユーザーがシステムに存在する場合は、34ページユーザーのエクスポートを参照してください。

カメラユーザーをインポートするには:

1.  に移動します。
2. コンテキストメニュー  を開き、[Import users (ユーザーのインポート)] をクリックします。
3. ユーザー、ユーザーID、RFIDの正しい形式を示す [CSV template (CSVテンプレート)] をダウンロードします。
4. CSVファイルにユーザーとユーザーIDを入力します。
5. [Select CSV file (CSVファイルの選択)] をクリックし、作成したファイルを選択します。
6. ステータスウィンドウに表示されている競合をすべて解決し、[インポート] をクリックします。

カメラを追加する

1. システムに追加するカメラをドッキングします。カメラのLEDがオレンジ色で点滅します。

2.  に移動します。
3. カメラのリストで、[New (新規)] をクリックします。
4. [Add cameras (カメラを追加)] リストで、追加するカメラを選択し、[Add (追加)] をクリックします。

カメラが追加されると、カメラの状態が [Adding (追加中)] から [Docked (ドッキング済み)] または [Charging (充電中)] に変わります。これには数分かかることがあります。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

カメラへのユーザーの割り当て

注

- ・ ユーザーが割り当てられていない場合、カメラは機能しません。ドッキングを解除すると、カメラのLEDが赤く点滅します。これは、使用前にユーザーをカメラに割り当てる必要があることを示しています。
- ・ ユーザーを割り当てることができるのは、ユーザーのカメラプロフィール内のすべての機能をサポートしているカメラのみです。

カメラへのユーザーの割り当てには次の2つの方法があります。

- ・ 19ページ固定カメラの割り当て
- ・ 19ページ自己割り当てによるカメラの割り当て


固定カメラの割り当て

装着式システムの管理者がカメラユーザーを1台の特定のカメラに割り当てます。そのカメラユーザーは常に同じ装着式カメラを使用します。特定のカメラへのユーザーの割り当てを参照してください。

特定のカメラへのユーザーの割り当て

注

システム設定ウィザードで、固定カメラ割り当てが選択されています。自己カメラ割り当てに変更するには、システムをリセットする必要があります。

1.  に移動します。
2. ユーザーを割り当てるカメラを開きます。
3. [Assigned user (割り当てられたユーザー)] リストで、ユーザーを選択します。

自己割り当てによるカメラの割り当て

注

自己割り当てに使用できるのは、少なくとも60%のバッテリー残量と60%のストレージ残量を持つカメラのみです。

カメラユーザーがシステムに接続されたRFIDリーダーの自己割り当てタグをタップします。その後、システムはユーザーを使用可能なカメラに割り当てます。自己割り当て済みカメラのLEDが緑色に点滅します。これは、ユーザーがカメラのドッキングを解除できる状態にあることを示します。

装着式システムによっては、ハードウェアが別々の場所に設置されている場合や、システム全体が同じ部屋にある場合もあります。装着システムで利用可能な任意のカメラをグローバルに自己割り当てするか、カードリーダーと同じ位置にあるカメラをローカルに自己割り当てするかを選択できます:

グローバル自己割り当て - ユーザーがRFIDタグにより、使用可能なカメラを自己割り当てします。すべてのカメラとシステムコントローラーが同じ部屋にある場合は、グローバル自己割り当てを使用します。

ローカル自己割り当て - ユーザーがRFIDタグにより、カードリーダーのあるカメラを自己割り当てします。ローカル自己割り当て機能を使用すると、ユーザーはシステム内の任意の場所にカメラを接続できます。カメラとシステムコントローラーが異なる場所に拡散している場合は、ローカル自己割り当てを使用します。

自己割り当てによるカメラの割り当ての設定については、自己割り当てによるカメラの割り当てを設定するを参照してください。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定する



自己割り当てによるカメラの割り当てを設定する

注



- システム設定ウィザードで、自己割り当てによるカメラの割り当てが選択されています。固定カメラの割り当てに変更するには、システムをリセットする必要があります。
- この設定には、RFIDリーダー **External RFID Card Reader 125kHz + 13.56MHz with NFC (USB)** が必要です。このリーダーには2つのモデルがあります。モデル名は製品ラベルに印刷されています。
 - TWN4 Multitech** は、すべてのファームウェアバージョンでサポートされています。
 - TWN4 Multitech 2 LF HF**には、ファームウェアバージョン10.12以降が必要です。

自己割り当てによるカメラの割り当てを設定するには:

- RFIDリーダーをシステムコントローラーに接続します。リーダーのLEDが緑色に点灯するのを待ちます(約15秒かかります)。これで、リーダーのファームウェアが正しくなり、使用できるようになりました。
- 各RFIDタグを個別にペアリングするには、次の手順に進みます。
または、既存のRFIDをすべてのユーザーに一度に関連付ける方法については、*18ページユーザーのインポート*を参照してください。
- RFIDリーダーの接続をシステムコントローラーから外します。
- AXIS Body Worn Managerへのアクセスに使用するコンピューターに**同じ**RFIDリーダーを接続します。

注

リモートデスクトップソリューションによる設定はサポートされていません。RFIDリーダーは、AXIS Body Worn Managerへのアクセスに使用するコンピューターに直接接続する必要があります。

- AXIS Body Worn Managerで  に移動します。
- 自己割り当てタグとペアリングするユーザーを選択します。
-  をクリックして新しい機器をペアリングします。
- [Pair (ペアリング)] (自己割り当てタグ) をクリックします。
- RFIDリーダーの自己割り当てタグをタップして登録します。ユーザーインターフェースのすべてのドットがオレンジ色になるまでタップし続けます。

注

複数のペアリングを行う場合は、手順6~9を繰り返します。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

10. RFIDリーダーの接続をコンピューターから外します。

11. 同じRFIDリーダーをシステムコントローラーに接続します。

これで、カメラユーザーはタグを使用して、装着式カメラの自己割り当てを行えるようになります。

ライブビデオをAXIS Body Worn Liveにストリーミングする

AXIS Body Worn Liveは、装着式カメラのユーザーがAXIS Body Worn Live Webアプリケーションにライブビデオをストリーミングできるクラウドサービスです。

開始するには、*AXIS Body Worn Live*ユーザーマニュアルを参照してください。

録画を自動的に開始する


プリバッファと組み合わせることで、自動録画を有効にすることで、カメラユーザーが手動で記録を開始しなくても、インシデント全体がキャプチャーされます。以下を使用して、録画を自動的に開始するようにカメラを設定できます。

- 21ページ落下検知
- 21ページアンホルスター検知
- 23ページワイヤレスブロードキャスト

落下検知

落下検知は、カメラを装着している人が倒れたとき、自動的にビデオ録画をトリガーします。この機能は、プリバッファと組み合わせることで、手動で起動することなく、インシデント全体を確実にキャプチャーします。

落下検知をオンにするには:

1.  に移動します。
2. 編集するカメラのプロファイルを開きます。
3. 落下検知をオンにします。

アンホルスター検知

ホルスターセンサーは、アンホルスターを検出して、自動的にビデオ録画をトリガーします。この機能は、プリバッファと組み合わせることで、手動で起動することなく、インシデント全体を確実にキャプチャーします。この機能では、カメラユーザーとYardarmホルスターセンサーをペアリングする必要があります。

注

アンホルスター検知とワイヤレスブロードキャストを組み合わせることができます。ホルスターセンサーとペアリングされたカメラはワイヤレスブロードキャストされた信号を受信できますが、信号をブロードキャストすることはできません。

Axis装着式ソリューション

システムの設定





このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

help.axis.com/?&pid=58704§ion=unholster-detection

装着式カメラ用ホルスターセンサーの設定

アンホルスター検知を有効にするには、次の手順に従います。

1. ホルスターセンサーが電源から切断されていることを確認します。
2.  に移動し、ホルスターセンサーをペアリングするユーザーを選択します。
3.  をクリックして新しい機器をペアリングします。
4. [Pair (ペアリング)] (ホルスターセンサー) をクリックします。
5. カメラをドッキングします (カメラの割り当て方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います)。
 - **固定カメラの割り当て:** ホルスターセンサーとペアリングする装着式カメラユーザーに割り当てられたカメラをドッキングします。
 - **自己割り当てによるカメラの割り当て:** カメラがドッキングされているのを確認します。
6. ホルスターセンサーに記載されている6文字のシリアル番号を入力します。
7. カメラのドッキングを解除します (カメラの割り当て方法に応じて、以下のいずれかの操作を行います)。
 - **固定カメラの割り当て:** カメラのドッキングを解除し、カメラが起動するのを待ちます。ステータスLEDが緑色に点灯します。
 - **自己割り当てによるカメラの割り当て:** カメラを自己割り当てし、カメラのドッキングを解除してカメラの起動を待ちます。ステータスLEDが緑色に点灯します。
8. ホルスターセンサーに電源を接続します。
9. AXIS W120では、ホルスターセンサーのアイコンが白色に点灯してペアリングが開始されたことを示します。他のカメラモデルでは、Wi-Fi®接続LEDが黄色に点滅します。アイコンまたはLEDが緑色に点灯するまで待ちます。点灯はペアリングが成功したことを示します (最大20秒かかることがあります)。ペアリングに失敗すると、アイコンまたはLEDが赤色に点灯します。
10. ホルスターセンサーから電源を外します。
11. ホルスターセンサーを取り付け、ホルスターを外して、ペアリングが成功したことを確認します。カメラの録画LEDが赤色に点灯します。
12. カメラをドッキングしてください。

ペアリングが完了したら、**ペアリングされた機器**で、ホルスターセンサーのペアリング状況を確認してください。緑色の状態は、ペアリングが装着式システムに登録されていることを示しています。

カメラを日常的にホルスターセンサーに接続するには、カメラのドッキングを解除し、ドッキング解除後10分以内はカメラがホルスターセンサーの範囲内にあることを確認します。通常の場合、範囲は5 ~ 10 m (16 ~ 33フィート) です。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

ワイヤレスブロードキャスト

注

この機能をサポートするのは、一部のカメラモデルのみです。


ワイヤレスブロードキャストにより、カメラは、同じ装着式システムに属する近くにある他のカメラで、録画をアクティブにすることができます。

1台のカメラが録画を開始すると、近くにある他のカメラにワイヤレス信号をブロードキャストします。ブロードキャストは10秒間続きます。ブロードキャストを受信したカメラも自動的に録画を開始します。

注

- ワイヤレス信号を検知できるかどうかは、周囲の環境に大きく依存します。
- ホルスターセンサーとペアリングされたカメラはブロードキャストされた信号を受信できますが、信号をブロードキャストすることはできません。



1.  に移動します。
2. 編集するカメラのプロファイルを開きます。
3. そのカメラから他のカメラに信号をブロードキャストするように設定するには、[Broadcast wireless signal (ワイヤレス信号のブロードキャスト)] をオンにします。
4. 他のカメラからブロードキャストされた信号を受信したときにカメラが録画を開始するように設定するには、[Receive wireless broadcast (ワイヤレスブロードキャストの受信)] をオンにします。


位置情報の記録

注

この機能をサポートするのは、一部のカメラモデルのみです。


カメラの地理的位置情報を録画できます。録画された位置情報データを使用すると、コンテンツの送信先がカメラの動きをトラックとして、またはマップ上の単一の位置として表示できます。その後、この情報を使用して、インシデントが発生した場所を特定し、イベントの全過程を鮮明に確認できます。この機能には、次の2つのモードがあります。

開始と終了 - 録画の開始および終了時に、カメラの地理的位置情報を記録します。

追跡  - 録画全体でカメラの地理的位置情報を継続的に記録します (プリバッファを含む)。追跡モードは、コンテンツ送信先でサポートされている場合にのみ利用できます。これを [Power saving mode (省電力モード)] と組み合わせることはできません。

録画に地理的位置情報を含めるには:



1.  に移動します。
2. カメラプロファイルを選択します。
3. 録画に地理的位置情報を含めるカメラモデルを展開します。
4. [Location (位置情報)] をオンにします。
5. [Mode (モード)] を選択します。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

注


- ・ 屋外で使用する場合、位置情報では、衛星 (GNSS) を使用してカメラの位置を取得します。クラウド拡張機能をオンにすると、アシストGNSS (エフェメリス) により測位性能が向上し、最初の衛星フィックスを取得するまでの時間が短縮されます。
- ・ コンテンツの送信先によっては、位置情報データの表示や使用方法が異なる場合があります。たとえば、位置情報を録画の検索に使用したり、録画用のマップやブックマークに表示したりできます。
- ・ 位置情報は屋外専用です。屋内で使用する場合はオフにすることをお勧めします。
- ・ 位置情報機能によってバッテリーの消費量が増加します。

録画で連続的に更新される位置情報をビデオにオーバーレイとして含めることもできます。これをオンにするには、カメラプロファイルの **[Overlay (オーバーレイ)]** に移動し、**[Position (位置)]** をオンにします。

録画へのアクセスを制限する

[Allow access to recordings (録画へのアクセスを許可する)] 設定では、カメラユーザーがAXIS Body Worn Assistant内の録画を表示できるかどうかを指定できます。カメラプロファイルでオン/オフを切り取ることができます。録画へのアクセスをオフにするには:



1.  に移動します。
2. 編集するプロファイルを開きます。
3. **[録画へのアクセスを許可する]** をオフにします。

クラウド拡張機能(Cloud extensions)

装着式システムでは、標準機能のセットがすぐに使用できる状態になっています。クラウド拡張機能は、クラウドベースの追加機能のセットです。

使用可能なクラウド拡張機能は次のとおりです。

アシストGNSS (エフェメリス) - 位置情報データのパフォーマンスが向上し、最初の修正を取得するのにかかる時間を短縮できます。

電子メール通知 - この通知により、システムの健全性を監視する時間を短縮することができます。詳細については、[40ページ電子メール通知の設定](#)を参照してください。

ファームウェアのアップグレード支援 - 最新のシステムファームウェアを、コンピューターに手動でダウンロードせずに、インストールできます。また、インストール前に、AXIS Body Worn Managerで直接、ファームウェアのアップグレードで追加される新機能が表示されます。新しいファームウェアバージョンが利用可能になったときに電子メール通知を受信するように選択できます。

注

- ・ クラウド拡張機能を一度オンにすると、装着式システムをリセットしない限りオフにすることはできません。
- ・ クラウド拡張機能をオンにするには、システムが ***.bodyworn.axis.cloud** にアクセスできることを確認する必要があります。
- ・ **Region (地域)** は、メタデータが保存されている地理的な場所です。地域を変更するには、装着式システムをリセットする必要があります。

クラウド拡張機能をオンにするには:

1.  に移動します。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

2. [Region (地域)] を選択します。
3. [Connect (接続)] をクリックします。
4. [Connect (接続)] をクリックして確定します。

これらは、クラウド拡張機能とAXIS Body Worn Liveを設定して使用する際に、装着式システムがアクセスする必要があるホスト名です。

グローバルWebアプリケーション、*.bw.mysystems.axis.com			
地域: グローバル			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
bw.mysystems.axis.com	443 (HTTPS)	Webブラウザ	オンラインサービスのベースURL。
live.bw.mysystems.axis.com	443 (HTTPS)	Webブラウザ	AXIS Body Worn Live WebアプリケーションにアクセスするためのURL。

Global API、*.bodyworn.axis.cloud			
地域: グローバル			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
logs.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーからzip形式のログをアップロードするためのエンドポイント。(Azure Front Door)
flags.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	機能フラグのAPI。api.flagsmith.comのプロキシ。(Azure Front Door)
agnss.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	アシストGNSS (GPS) データファイルを取得するためのAPI。(Azure Front Door)
api.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	グローバルエンドポイント用のAPI (例: 地域の取得)。(Azure Front Door)
dispatchse1-st.axis.com:443 dispatchse1-st.axis.com:80 dispatchse2-st.axis.com:443 dispatchse2-st.axis.com:80 dispatcher-st.axis.com:443 dispatcher-st.axis.com:80 dispatchus1-st.axis.com:443 dispatchus1-st.axis.com:80	443 (TLS) 80 (TLS)	システムコントローラー	システムコントローラーの地域別オンボーディング。信頼を確立し、システムコントローラーを地域別オンボーディングサービスに登録するために使用します。システムコントローラーは、これらのアドレスのいずれかへの接続を確立しようとする場合があります。システムコントローラーが接続を確立できない場合、システムコントローラーはリスト内の別のエントリーを試行します。これは、「dispatchse1-

Axis装着式ソリューション

システムの設定

Global API、*.bodyworn.axis.cloud			
地域: グローバル			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
dispatchjp1-st.axis.com:443 dispatchjp1-st.axis.com:80 195.60.68.120:443 195.60.68.120:80 195.60.68.121:443 195.60.68.121:80			st.axis.com:443」や「dispatchus1-st.axis.com:443」などのサブセットのみへの接続を許可しても問題がないことを意味します。サービスの可用性の観点から、複数の接続を許可することをお勧めします。
oakcgi.o3c.axis.com	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーの地域別オンボーディング。地域オンボーディングサービスにシステムコントローラーを登録する際に必要となる所有者認証キーを取得するために使用します。
firmware.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	ファームウェアのバイナリとリリースノートを取得するためのエンドポイント。(Azure Front Door)
time.bodyworn.axis.com	443 (HTTPS)	Webブラウザ	AXIS Body Worn Liveビデオプレーヤーの時刻同期。

Europe (EU) API、*.de.bodyworn.axis.cloud			
地域: 欧州 (EU)			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
logs.de.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーからzip形式のログをアップロードするためのエンドポイント。(Azure Front Door)
flags.de.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	機能フラグのAPI。api.flagsmith.comのフロント。(Azure Front Door)
agnss.de.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	アシストGNSS (GPS) データファイルを取得するためのAPI。(Azure Front Door)
device.de.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	APIエンドポイントオンボードシステムコントローラー。オンボードシーケンスの開始に使用。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

Europe (EU) API、*.de.bodyworn.axis.cloud			
地域: 欧州 (EU)			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
axisbws-de.azure-devices.net	443 (HTTPS、WSS)	システムコントローラー、装着式カメラ	システムコントローラーとクラウド間のアプリケーション通信に使用されるエンドポイント。(Azure IoT Hub)
o3c-01.de.bodyworn.axis.cloud o3c-02.de.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーの地域別オンボーディング。システムコントローラーは信頼できる証明書で自己を示し、代わりに Azure IoT Hub の認証情報を取得します。
firmware.de.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	ファームウェアのバイナリとリリースノートを取得するためのエンドポイント。
bwo.de.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	Web ブラウザー	AXIS Body Worn Live Web アプリケーション用の API。
axisbwsde.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	装着式カメラからのビデオのアップロード。AXIS Body Worn Live Web アプリケーションからのビデオの表示。
noreply@de.mail.bodyworn.axis.com	該当なし	システムコントローラー	電子メール通知は、この電子メールアドレスから送信されます。
axislive1241599c727ca164.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	オーストラリアでの地域別保存先。
axislive1a971db526ccd090.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	EUでの地域別保存先。
axislive1cd3deb4113e1090.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	ドイツでの地域別保存先。
axislive3de069b03bd2a97e.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	日本での地域別保存先。
axislive4ca0ac2a1e3c3a5d.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	フランスでの地域別保存先。
axislivecc2bb52132a9d128.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	インドでの地域別保存先。
axisliveddf88dff731e6a86.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	英国での地域別保存先。
axisliveee7cbce3b4de2b1d.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Web ブラウザー	スイスでの地域別保存先。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

North America (US) API、*.useast.bodyworn.axis.cloud			
地域: 北米 (米国)			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
logs.useast.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーからzip形式のログをアップロードするためのエンドポイント。(Azure Front Door)
flags.useast.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	機能フラグのAPI。api.flagsmith.comのフロント。(Azure Front Door)
agnss.useast.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	アシストGNSS (GPS) データファイルを取得するためのAPI。(Azure Front Door)
device.useast.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	APIエンドポイントオンボードシステムコントローラー。オンボードシーケンスの開始に使用。
axisbws-useast.azure-devices.net	443 (HTTPS、WSS)	システムコントローラー	システムコントローラーとクラウド間のアプリケーション通信に使用されるエンドポイント。(Azure IoT Hub)
o3c-01.useast.bodyworn.axis.cloud o3c-02.useast.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーの地域別オンボーディング。システムコントローラーは信頼できる証明書で自己を示し、代わりにAzure IoT Hubの認証情報を取得します。
firmware.useast.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	ファームウェアのバイナリとリリースノートを取得するためのエンドポイント。
bwo.useast.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	Webブラウザー	API for AXIS Body Worn Live。
axisbwsuseast.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザー	装着式カメラからのビデオのアップロード。AXIS Body Worn Liveからのビデオの表示。
noreply@useast.mail.bodyworn.axis.com	該当なし	システムコントローラー	電子メール通知は、この電子メールアドレスから送信されます。
axislive1b52bfb300c0375f.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザー	オーストラリアでの地域別保存先。
axislive313acf5f15078929.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザー	インドでの地域別保存先。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

North America (US) API、*.useast.bodyworn.axis.cloud			
地域: 北米 (米国)			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
axislive8c905894982b7389.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザ	米国東部での地域別保存先。
axislive9525155d83b4d5e-8.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザ	米国西部での地域別保存先。
axislivec9aedcb3d302c86a.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザ	全米での地域別保存先。
axislived14b02b291b9986d.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザ	日本での地域別保存先。
axislivef94d39c239ad76b6.blob.core.windows.net	443 (HTTPS)	装着式カメラ、Webブラウザ	カナダでの地域別保存先。

Asia-Pacific (Australia) API、*.au.bodyworn.axis.cloud			
地域: アジア太平洋 (オーストラリア)			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
logs.au.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーからzip形式のログをアップロードするためのエンドポイント。(Azure Front Door)
flags.au.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	機能フラグのAPI。api.flagsmith.comのフロント。(Azure Front Door)
agnss.au.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	アシストGNSS (GPS) データファイルを取得するためのAPI。(Azure Front Door)
device.au.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	APIエンドポイントオンボードシステムコントローラー。オンボードシーケンスの開始に使用。
axisbws-au.azure-devices.net	443 (HTTPS、WSS)	システムコントローラー	システムコントローラーとクラウド間のアプリケーション通信に使用されるエンドポイント。(Azure IoT Hub)
o3c-01.au.bodyworn.axis.cloud o3c-02.au.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	システムコントローラーの地域別オンボーディング。システムコントローラーは信頼できる証明書で自己を示し、代わりにAzure IoT Hubの認証情報を取得します。

Axis装着式ソリューション

システムの設定

Asia-Pacific (Australia) API、*.au.bodyworn.axis.cloud			
地域: アジア太平洋 (オーストラリア)			
ドメイン	ポート	装置タイプ	目的
firmware.au.bodyworn.axis.cloud	443 (HTTPS)	システムコントローラー	ファームウェアのバイナリとリリースノートを取得するためのエンドポイント。
noreply@de.mail.bodyworn.axis.com	該当なし	システムコントローラー	電子メール通知は、この電子メールアドレスから送信されます。

Axis装着式ソリューション

システムの保護


システムの保護

署名付きビデオ

署名付きビデオでは、暗号化チェックサムが各ビデオフレームに追加され、その後、AxisデバイスIDによって署名されます。これにより、ビデオを元のカメラまで追跡することができます。そのため、ビデオファイルの管理過程を検証することなく、カメラを離れた後に録画が不正に改変されていないか確認できます。AXIS File Playerを使用してビデオファイルを確認できます(31ページ録画の信頼性を確認するを参照)。

axis.comに移動して、カメラが署名付きビデオに対応しているかどうかを確認します。

署名付きビデオをオンにする方法:

-  > [Signed video (署名付きビデオ)] に移動します。
- [Signed video (署名付きビデオ)] をオンにします。

注

この機能は、コンテンツ送信先でサポートされている場合に利用できます。

録画の信頼性を確認する

注

録画の信頼性を確認するには、ビデオの録画時に署名付きビデオがオンになっている必要があります。31ページ署名付きビデオを参照してください。

- 確認する録画をエクスポートします。
- AXIS File Player (クリックしてダウンロード) を使用して録画を再生します。



は、録画が不正に改変されていないかどうかを示します。

注

メタデータを表示するには、ビデオを右クリックして [Show digital signature (デジタル署名を表示)] を選択します。


証明書

証明書を使用すると、ネットワーク上の装置を認証することができ、HTTPSを使用して暗号化されたWebブラウジングを有効にすることができます。装着式システムに安全に接続するには、HTTPSの使用をお勧めします。33ページHTTPSのみを許可を参照してください。

装着式システムに安全に接続するには、以下のようにします。



- 証明書の署名要求を作成する
- CA (認証局) を使用して、CSR (証明書署名要求) に署名します。
- 証明書のインストール

証明書の署名要求を作成する

-  > [Certificates and IEEE 802.1x (証明書とIEEE 802.1x)] に移動します。
- [Show certificate settings (証明書の設定の表示)] をクリックします。

Axis装着式ソリューション

システムの保護

3.  をクリックします。
4. [Create self-signed certificate (自己署名証明書の作成)] を選択し、[Next (次へ)] をクリックします。
5. [Create self-signed certificate (自己署名証明書の作成)] で、値を入力し、[Create (作成)] をクリックします。
6. 新しい証明書の横にあるコンテキストメニュー  を開きます。
7. [Create signing request (署名要求の作成)] をクリックします。
8. [Create certificate signing request (証明書署名要求の作成)] で、[Create (作成)] をクリックします。
9. [Signing request (署名要求)] ダイアログで、テキスト全体をコピーし、ファイル名が .csr のファイルに貼り付けます。




注

また、既存の [Default (self-signed) (デフォルト (自己署名))] 証明書に対する署名要求を作成することもできます。



証明書のインストール

注

インストールされた証明書は、アップロードされた.crtファイルから接尾辞を除いた名前を取得します。この名前は一意である必要があります。

1.  > [Certificates and IEEE 802.1x (証明書とIEEE 802.1x)] に移動します。
2. [Show certificate settings (証明書の設定の表示)] をクリックします。
3.  をクリックします。
4. [Upload a CA certificate (CA証明書をアップロードする)] を選択します。
5. [Select file (ファイルの選択)] をクリックし、<filename>.crtというファイル名で署名された証明書を参照します。
6. [Install (インストール)] をクリックします。
7. 証明書の横にあるコンテキストメニュー  を開きます。
8. [Activate (有効化)] をクリックします。

802.1xの設定

1. 装着式システムを、802.1xを使用せずにネットワークに接続します。
2.  > [Certificates and IEEE 802.1x (証明書とIEEE 802.1x)] に移動します。
3. [Show certificate settings (証明書の設定の表示)] をクリックします。
4.  をクリックして新規証明書を作成するか、既存の証明書をインストールします。
5. [802.1x] で、インストールした証明書を選択します。
6. EAP identity (EAP ID)を入力します。


Axis装着式ソリューション

システムの保護

7. [Use IEEE 802.1x (IEEE 802.1xを使用)] を選択します。
8. [Save (保存)] をクリックします。
9. ページに [Connecting... (接続中...)] と表示されます。
10. 802.1xを有効にしたネットワークに装着式システムを接続します。

HTTPSのみを許可

装着式システムに安全に接続するには、HTTPSのみを使用することをお勧めします。



1.  > [HTTP and HTTPS (HTTPとHTTPS)] に移動します。
2. [Allow access through (次によるアクセスを許可)] ドロップダウンメニューで、[HTTPS only (HTTPSのみ)] を選択します。

Axis装着式ソリューション

ユーザーの管理

ユーザーの管理

ユーザーの削除

1.  に移動します。
2. 削除するユーザーをクリックします。
3. コンテキストメニュー  を開きます。
4. [Remove (削除)] をクリックします。



重要

コンテンツ送信先からカメラユーザーを削除しないでください。ユーザーの削除には、必ずAXIS Body Worn Managerを使用します。

ユーザーのエクスポート

すべてのカメラユーザーのデータをCSVファイルにエクスポートできます。これは、システムのリセットが必要な変更をシステムに加える必要があるが、すべてのユーザーデータを保持したい場合に便利です。システムをリセットし、すべての変更を行った後、ユーザーのデータを再びシステムにインポートするだけで済みます。18ページユーザーのインポートを参照してください。

カメラユーザーをエクスポートする方法:


-  に移動します。
- コンテキストメニュー  を開きます。
- [Export users (ユーザーのエクスポート)] をクリックします。

Axis装着式ソリューション

システムの監視

システムの監視

ダッシュボード

[Dashboard (ダッシュボード)] には、装置とシステムの健全性の概要が表示されます。また、注意が必要な問題も強調表示します。何か問題がある場合は、このページから簡単にアクセスして問題を解決することができます。

装置は同時に複数の問題が発生する可能性があります。詳細を確認するには、アイコンにカーソルを合わせます。

カメラアラート

アラート	意味	対処方法
Body Worn Liveの問題	システムが北米以外にある場合は、AXIS Body Worn Liveでライブストリーミングを開始する前に、カメラのすべてのワイヤレスネットワークチャンネルをオンにする必要があります。	bodywornlive.support@axis.comに連絡し、システムIDとシステムが設置されている国をお知らせください。これにより、Axisは必要なワイヤレスネットワークチャンネル12および13を有効にできます。
まもなく証明書の有効期限です	カメラがドッキングされていない場合、カメラの証明書は1週間以内に失効します。証明書の有効期限が切れたカメラは、次回ドッキングしたときにセーフモードになります。	カメラをドッキングしてください。
ドッキング済みですがバッテリーが空です	前回のセッションでバッテリー残量がなくなったため、カメラがシャットダウンしました。	カメラをクリックし、 [Battery health (バッテリーの状態)] タブに移動します。バッテリーの状態を把握するために、過去30日間にカメラがシャットダウンした回数と、前回のセッションで使用された時間を確認します。
ドッキングの問題	カメラがドッキングベイに正しく接続されていません。	以下のように対処してください。 <ol style="list-style-type: none">カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。アラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。カメラのコネクターと、ドッキングベイのポゴピンを清掃します。help.axis.comにあるカメラのユーザーマニュアルのクリーニングを参照してください。カメラをドッキングしてもアラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。他のカメラでこのアラートが表示されない別のドッキングベイに、カメラをドッキングしてください。アラートが消えた場合は、元のドッキン

Axis装着式ソリューション

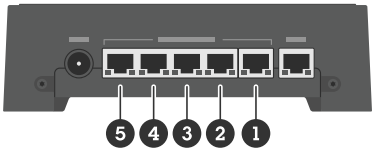
システムの監視

		グベイが故障しているため、ドッキングステーションを交換する必要があります。アラートがまだ表示される場合は、カメラが故障しているため、カメラを交換する必要があります。
セーフモード中	カメラの証明書が有効でないため、セキュリティ上の理由でカメラがセーフモードになりました。	カメラとシステム間の接続を再確認するには、カメラをクリックし、画面上の手順に従います。47ページカメラをシステムに戻すを参照してください。
動作不良	カメラが故障しています。	カメラを交換してください。
充電できない	カメラをドッキングしても充電されません。	以下のように対処してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。アラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 2. カメラのコネクターと、ドッキングベイのポゴピンを清掃します。 <i>help.axis.com</i>にあるカメラのユーザーマニュアルのクリーニングを参照してください。カメラをドッキングしてもアラートがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 3. 他のカメラでこのアラートが表示されない別のドッキングベイに、カメラをドッキングしてください。アラートが消えた場合は、元のドッキングベイが故障しているため、ドッキングステーションを交換する必要があります。アラートがまだ表示される場合は、カメラが故障しているため、カメラを交換する必要があります。

システムコントローラーのステータス

Axis装着式ソリューション

システムの監視

Status (ステータス)	意味	対処方法
<p>[コンテンツ送信先] への接続に失敗した</p>	<p>コンテンツ送信先にアクセスできません。</p>	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンテンツ送信先が起動され、実行中であることを確認します。 • コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 • コンテンツ送信先のユーザーマニュアルで、どのポートを開く必要があるかを確認してください。それらのポートが開いている必要があります。
<p>ポート [x] でドッキングステーションの接続の問題があります</p>  <p style="text-align: center;">ポート番号</p>	<p>システムコントローラーとドッキングステーション間のリンク速度が遅くなっています。これにより、録画のオフロード時に問題が発生する可能性があります。</p>	<p>以下のように対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドッキングステーションの電源を切り、再投入します。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 2. ドッキングステーションとシステムコントローラー間のネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 3. ドッキングステーションとシステムコントローラー間のネットワークケーブルを交換します。メッセージが消えた場合は、ケーブルに問題があるため、交換する必要があります。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 4. システムコントローラーの同じドッキングステーションポートに、正常に動作するドッキングステーションを接続します。メッセージが消えた場合は、元のドッキングステーションが故障しているため、交換する必要があります。メッセージがまだ表示される場合は、次の手順に進んでください。 5. システムコントローラーを再起動します。メッセージがまだ表示される場合は、システムコントローラーが故障している

Axis装着式ソリューション

システムの監視

		ため、交換する必要があります。
動作不良	システムコントローラーが故障しています。	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> システムコントローラーを再起動します。 <p>メッセージがまだ表示される場合は、システムコントローラーを交換してください。</p>
録画を転送できませんでした	録画をコンテンツ送信先に転送できませんでした。	転送できなかった録画をダウンロードしてください。48ページシステムコントローラーから録画を取得するを参照してください。
ストレージがほぼいっぱい	ストレージがほぼいっぱいです。	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツ送信先が起動され、実行中であることを確認します。 コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 録画がコンテンツ送信先に正常に転送されることを確認します。 コンテンツ送信先に十分なライセンスがあることを確認します。 コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。
ストレージがいっぱい	ストレージがいっぱいです。	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンテンツ送信先が起動され、実行中であることを確認します。 コンテンツ送信先へのネットワーク接続を確認します。 録画がコンテンツ送信先に正常に転送されることを確認します。 コンテンツ送信先に十分なライセンスがあることを確認します。 コンテンツ送信先の日時が装着式システムの日時と同期していることを確認します。
利用不可能	システムコントローラーが使用できません。	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> システムコントローラーがオンになっていることを確認します。 システムコントローラーへのネットワーク接続を確認します。



Axis装着式ソリューション

システムの監視

カメラ使用状況レポートのダウンロード

カメラ使用状況レポートには、割り当てられたカメラが過去7日間にどのように使用されたかがユーザーごとに表示されます。このレポートには、たとえば、録画の開始と停止、ドッキング、電源のオンとオフ、音声のミュートが含まれます。

カメラ使用状況レポートをダウンロードするには:

1.  に移動します。
2. コンテキストメニュー  を開きます。
3. [Camera usage report (カメラ使用状況レポート)] をクリックします。
4. [Download (ダウンロード)] をクリックします。

ダウンロードしたzipファイルには、各ユーザーのフォルダーが含まれています。

注

レポートには、最大7日間のカメラの使用状況が含まれています。以前のレポートが7日以内にダウンロードされた場合、レポートには、前回のレポートの時点から新しいレポートの時点までのカメラの使用状況が含まれています。


システムコントローラストレージを監視する

システムコントローラストレージの監視は、発生する可能性のあるファイル転送エラーを特定するのに役立ちます。

AXIS Body Worn Managerには、各システムコントローラの [Storage used (使用済みストレージ)] と [Storage reserved (予約済みストレージ)] が表示されます。


使用済みストレージ - システムコントローラのストレージは、録画がカメラからコンテンツ送信先に転送されるときにバッファとして使用されます。継続的に大量のストレージが使用されている場合は、転送エラーが発生している可能性があります。

予約済みストレージ - カメラがドッキングされると、コンテンツをシステムコントローラにオフロードするために必要なメモリが予約されます。すべてのファイルがコンテンツ送信先に転送されると、予約は削除されます。予約済みストレージが残っている場合は、転送エラーが発生している可能性があります。

ストレージ情報を表示するには、 に移動し、目的のシステムコントローラを開きます。

カメラがドッキング解除されていた期間の確認

AXIS Body Worn Managerでは、カメラがドッキング解除されていた期間を確認できます。これにより、たとえば、カメラを紛失したことや、ファームウェアのアップグレードが必要であることがわかります。

カメラがドッキング解除されていた期間を確認するには、 に移動し、目的のカメラをクリックします。


証明書の有効期限が切れたカメラの概要の取得

カメラが数週間ドッキングされていない場合、証明書は最終的に有効期限切れになります。証明書が有効期限切れになっている場合、カメラが紛失した可能性があります。

証明書の有効期限が切れたカメラの一覧を表示するには、以下の手順に従います。

Axis装着式ソリューション

システムの監視

1.  に移動します。
2. [Filter (フィルター)] をクリックし、[Undocked (ドッキング解除済み)] を選択します。


[Certificate expired (証明書の有効期限切れ)] アラートのあるカメラが、ドッキング解除されていた期間に基づいて並べ替えられます。

電子メール通知の設定

次のイベントについて電子メールで通知するように装着式システムを設定できます。

- コンテンツ送信先への接続が失われました
- 拡張システムコントローラーへの接続が失われました
- システムコントローラストレージの残量が少なくなりました
- システムバックアップの同期に失敗しました
- 新しいファームウェアバージョンが入手可能です
- クラウド拡張機能への接続が失われました

システム通知をオンにするには:

1.  > [Email notifications (電子メール通知)] に移動します。
2. 電子メールアドレスを入力します。
3. 必要に応じて、[Send a test email to verify the address (アドレスを確認するためにテストメールを送信)] を選択します。
4. [Set (設定)] をクリックします。

通知の受信を停止するには、電子メールアドレスを削除して、[Set (設定)] をクリックします。

注

- 電子メール通知機能には、クラウド拡張機能へのアクセスが必要です。
- 複数の人に電子メール通知を送信するには、メーリングリストを使用します。

Axis装着式ソリューション



システムのメンテナンス

システムのメンテナンス

重要



AXIS Body Worn Managerから、システムのリセットやカメラの取り外しなど、すべての装着式システムメンテナンスを必ず起動してください。

パスワードの変更

1.  > [Admin accounts (管理者アカウント)] に移動します。
2. 変更するアカウントのコンテキストメニュー  を開きます。
3. [Edit (編集)] をクリックします。
4. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。現在のパスワードは、rootアカウントを変更する場合にのみ必要です。
5. [Save (保存)] をクリックします。

管理者アカウントの追加

追加の管理者アカウントを追加するには:


1.  > [Admin accounts (管理者アカウント)] に移動します。
2.  [Add account (アカウントを追加)] をクリックします。
3. ユーザー名とパスワードを入力します。
4. [Save (保存)] をクリックします。

注

- ここで、rootアカウント以外の管理者アカウントを削除することもできます。

システムレポートのダウンロード

装着式システムからシステムレポートをダウンロードすることができます。Axisのサポートではトラブルシューティングにシステムレポートを使用しています。

1.  > [System report (システムレポート)] に移動します。
2. [System report (システムレポート)] をクリックします。
3. ファイルをAxisサポートに送信します。

注

- システムレポートには、システムにある、またはシステムにドッキングされている、すべてのシステムコントローラーとカメラが含まれます。ドッキングすると、カメラの最新のログが含まれます。
- システムレポートは、ダウンロードした瞬間に生成されるだけでなく、毎日1回自動で生成されます。これは、7日間システムに保存され、その後、新しいものに置き換わります。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

カメラを別の装着式システムに移動



別のシステムで、装着式カメラを使用するには、まず、現在のシステムからカメラを削除する必要があります。その後、新しいシステムにカメラを追加することができます。

カメラを別の装着式システムに移動するには:

1. 現在のシステムからカメラを削除します。42ページカメラを削除するを参照してください。
2. 新しいシステムにカメラを追加するには、カメラを追加するの手順に従ってください。

接続ファイルを変更する

コンテンツ送信先への接続が失われた場合、可能な解決策は、現在の接続ファイルを新しいものに置き換えることです。コンテンツ送信先が新しいIPアドレスを取得したり、コンテンツ送信先で特定の設定が変更されたりすると、接続が失われることがあります。

1.  に移動します。
2. コンテンツ送信先の [Configuration (設定)] で  をクリックします。
3. 新しい接続ファイルをアップロードします。
4. [Save (保存)] をクリックします。

注

別のコンテンツ送信先に切り替える場合は、システムをリセットする必要があります (45ページシステムのリセットを参照)。



システムからハードウェアを削除する

カメラを削除する

注

ドッキングされているカメラと使用中のカメラの両方を削除できます。使用中のカメラを削除するように選択すると、すべてのコンテンツが転送され、ドッキング後にカメラが削除されます。コンテンツの転送が完了すると、カメラは最新のアップロードされたファームウェアを使用して工場出荷時の設定にリセットされます。

装着式システムからカメラを削除するには、以下のようになります。

1.  に移動します。
2. 削除するカメラを開きます。
3. コンテキストメニュー  を開き、[Remove (削除)] をクリックします。
4. [Remove (削除)] をクリックします。

重要

装着式カメラをコンテンツの宛先から削除しないでください。カメラの削除には、必ずAXIS Body Worn Managerを使用してください。



カメラが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、43ページカメラの強制削除を参照してください。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

カメラの強制削除

カメラを紛失した場合、または修理できないほど損傷した場合は、装着式システムからカメラを強制削除できます。このオプションは、カメラが **[Undocked (ドッキング解除済み)]** 状態のときにのみ使用できます。カメラを強制削除するには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。カメラを強制削除するには:



-  に移動します。
- 削除するカメラを開きます。
- コンテキストメニュー  を開き、**[Remove (削除)]** をクリックします。
- **[Remove (削除)]** をクリックします。
- スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
- **[Force remove (強制削除)]** をクリックします。

拡張システムコントローラーを削除

注

- 拡張システムコントローラーを物理的に取り外す前に、AXIS Body Worn Managerで必ずシステムから削除してください。
- 装着式システムからシステムコントローラーを削除すると、すべてのコンテンツが保存先に転送され、システムコントローラーが工場出荷時の設定にリセットされます。

拡張システムコントローラーを装着式システムから削除するには:

1.  に移動します。
2. 削除するシステムコントローラーをクリックします。
3. コンテキストメニュー  を開き、**[Remove (削除)]** をクリックします。
4. **[Remove (削除)]** をクリックします。


システムコントローラーが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、[43ページ拡張システムコントローラーの強制削除](#)を参照してください。

拡張システムコントローラーの強制削除

重要

強制削除された拡張システムコントローラーを再び使用することはできません。

拡張システムコントローラーが紛失したか修理できないほど損傷した場合は、装着式システムから拡張システムコントローラーを強制削除できます。このオプションは、拡張システムコントローラーが **[Unavailable (使用不可)]** 状態の場合にのみ使用できます。拡張システムコントローラーを強制削除するには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスできる必要があります。拡張システムコントローラーを強制削除するには:

- 強制削除する拡張システムコントローラーを削除します ([43ページ拡張システムコントローラーを削除](#)を参照)。拡張システムコントローラーが **[Unavailable (使用不可)]** 状態の場合、そのコントローラーは装置リストに残りますが、グレー表示されます。
- 強制削除する拡張システムコントローラーを再度開きます。
- コンテキストメニュー  を開き、**[Remove (削除)]** をクリックします。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

- ・ スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
- ・ [Force remove (強制削除)] をクリックします。

システムハードウェアの交換

装着式システム中でカメラとシステムコントローラーを交換することができます。

カメラを交換する

1. 交換するカメラをドッキングします。
2. AXIS Body Worn Managerを開き、カメラのオフロードが停止するまで待ちます。
3. システムからカメラを削除します。カメラを削除するを参照してください。
4. カメラのドッキングを解除します。
5. 新しいカメラをシステムに追加します。カメラを追加するを参照してください。

拡張機能システムコントローラーの交換

システムコントローラーを交換するには、以下の手順で、装着式システムの一部であるシステムコントローラーを交換します。

1. 古いシステムコントローラーを取り外します。拡張システムコントローラーを削除を参照してください。
2. 新しいシステムコントローラーを追加します。システムコントローラーを追加するを参照してください。

システムコントローラーの交換

システムを作成したシステムコントローラーが故障した場合は、システムコントローラーを交換してシステムを復元する必要があります。単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する。

システムまたはハードウェアをリセットする

カメラ、システムコントローラー、または装着式システムをリセットし、工場出荷時の設定に戻すことができます。


カメラのリセット

カメラを工場出荷時の設定にリセットするには、装着式システムから取り外します。カメラを削除するを参照してください。

拡張システムコントローラーのリセット

拡張システムコントローラーを装着式システムから削除することで、工場出荷時の設定にリセットできます。拡張システムコントローラーを削除を参照してください。

AXIS Body Worn Managerから装着式システムにアクセスできない場合は、各拡張システムコントローラーに個別にアクセスしてリセットすることができます。

1. 拡張システムコントローラーにアクセスします。
2. コンテキストメニュー  を開きます。
3. [Reset system controller (システムコントローラーをリセット)] をクリックします。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

注


バックアップ拡張システムコントローラーを工場出荷時の設定にリセットすることはできません。

システムのリセット


重要

- ・ 装着式システムをリセットする前に、コンテンツの保存先を絶対に削除またはリセットしないでください。必ず装着式システムを最初にリセットしてください。最初にコンテンツの保存先を削除またはリセットすると、録画がカメラまたはシステムコントローラーに残り、装着式システムをリセットできなくなります。これは、すべての証拠がコンテンツの保存先にアップロードされるようにするセキュリティ機能です。
- ・ AXIS Body Worn Managerでカメラやユーザーを削除する前に、コンテンツの保存先からカメラやユーザーを削除しないでください。

装着式システムすべてを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには:

1. すべてのカメラを取り外します。カメラを削除するを参照してください。
2. 可能な場合は、コンテンツ送信先の対応するカメラを無効化してください。
3. すべての拡張システムコントローラーを取り外します。拡張システムコントローラーを削除を参照してください。
4.  > [System reset (システムのリセット)] に移動し、[Reset system (システムのリセット)] をクリックします。

ペアリングされた機器を削除する

1.  に移動します。
2. ペアリングを削除するユーザーをクリックします。
3. 削除する装置を特定してコンテキストメニューを開きます。
4. [Remove (削除)] をクリックします。

注

カメラユーザーとAXIS Body Worn Assistant間のペアリングを装着式システムから削除した場合でも、そのペアリングは引き続きAXIS Body Worn Assistantに残ります。AXIS Body Worn Assistantに既存のペアリングと置換する方法については、[既存のペアリングの削除](#)をご覧ください。

システムのリストア

まれな状況として、システムを最初に作成したシステムコントローラーが故障した場合は、システムをリストアすることができます。複数のシステムコントローラーを使用したシステムのリストアは、単一のシステムコントローラーを使用したシステムをリストアする場合とは異なります。

複数のシステムコントローラー - すべてのユーザー、カメラプロファイル、カメラの割り当て、システム設定を含めて、システムを復元できます。拡張システムコントローラーに保存されたバックアップからシステムをリストアすると、そのコントローラーがAXIS Body Worn Managerにアクセスするシステムコントローラーになります。システムのリストアには、システムを再起動するのと同じくらいの時間がかかります。システムをリストアする方法については、[46ページ複数のシステムコントローラーを使用したシステムをリストアする](#)を参照してください。

単一のシステムコントローラー - システムコントローラーを交換して、装着式システムと既存のカメラとの間の接続を再確立することができます。システムをリストアするには、最新のシステムリストアキーが必要です。システム復元キーをダウンロードするを参照してください。システムをリストアする方法については、[単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する](#)を参照してください。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

複数のシステムコントローラーを使用したシステムをリストアする




このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

help.axis.com/?&pid=58704§ion=restore-a-system-with-more-than-one-controller-system

Axisの装着式システムのバックアップとリストア

装着式システムをリストアするためには、先にシステムバックアップを設定しておく必要があります。手順については、11ページシステムバックアップを設定するを参照してください。

装着式システムをリストアするには:

1. システムバックアップを含む拡張システムコントローラーにアクセスします (WebブラウザにシステムコントローラーのIPアドレスを入力します)。
2. コンテキストメニュー  を開きます。
3. **[Restore system (システムの復元)]** をクリックします。
4. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
5. **[Restore (復元)]** をクリックします。
6. 復元されたシステムと既存の拡張システムコントローラー間の接続を再確立します。
 - 6.1 すべての拡張システムコントローラーをリセットします。44ページ拡張システムコントローラーのリセットを参照してください。
 - 6.2 すべての拡張システムコントローラーを設定します。10ページシステムの拡張を参照してください。
7. 装着式システムと既存のカメラの間の接続を再確立します。47ページカメラをシステムに戻すを参照してください。

重要

システムの復元が完了したら、バックアップを再設定してください。以前のバックアップシステムコントローラーが、AXIS Body Worn Managerにアクセスする場所になりました。また、故障したシステムコントローラーを新しいものと交換する必要があります。

単一のシステムコントローラーを使用したシステムを復元する

1. 新しいシステムコントローラーをインストールします。
2. 新しいシステムコントローラーにアクセスします。初めてAccess AXIS Body Worn Managerにアクセスするを参照してください。
3. **[Restore (リストア)]** をクリックします。
4. 管理者アカウントを作成し、**[Next (次へ)]** をクリックします。
5. 管理者アカウントの認証情報を使用してログインします。ユーザー名はrootです。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

6. 最新のファームウェアをインストールし、[Next (次へ)] をクリックします。
7. [Select System restore key (システムリストアキーの選択)] をクリックし、以前にダウンロードしたシステムのリストアキーを見つけて開きます。
8. スーパーアドミンパスワードを入力し、[Next (次へ)] をクリックします。
9. システム設定を完了します。
10. カメラをシステムに戻す。

重要


- ・ システムコントローラーが1つしかないシステムを復元ということは、装着式システムと既存のカメラとの間の接続を再確立することを意味します。ユーザー、カメラプロファイル、コンテンツの保存先などのシステム設定は復元されません。
- ・ システム復元キーを持っている場合にのみシステムを復元できます。システムに障害が発生した場合、システム復元キーをダウンロードできないことがあります。最初のシステム設定時にシステム復元キーをダウンロードして、安全な場所に保管することをお勧めします。

システム復元キーをダウンロードする

システム復元キーをダウンロードするには、以下の2つの方法があります。

- ・ システム復元キーは、システム設定の際に生成され、ダウンロードされます。
- ・ AXIS Body Worn Managerでシステム復元キーをいつでもダウンロードすることができます。

AXIS Body Worn Managerからシステムリストアキーをダウンロードするには:

1.  > [System restore key (システムリストアキー)] に移動します。
2. [System restore key (システムリストアキー)] をクリックします。
3. システム設定時に作成したスーパーアドミンパスワードを入力します。
4. [Download (ダウンロード)] をクリックして、システム復元キーを安全な場所に保存します。

重要


- ・ システム復元キーはパスワードで保護されています。
- ・ システム復元キーとスーパーアドミンパスワードは、常に安全な方法で保管してください。

カメラをシステムに戻す

セキュリティ上の理由から、8週間ドッキング解除されているカメラはセーフモードになります。

セーフモード中のカメラはシステムに戻すことができます。これを行うには、スーパーアドミンパスワードを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスする必要があります。

カメラの装着式システムへの接続の再確立を許可する方法:

1. [Dashboard (ダッシュボード)]  に移動します。
2. アラートが [In safe mode (セーフモード中)] のカメラを開きます。
3. セーフモード中のカメラが複数ある場合は、許可するカメラを選択します。
4. [Next (次へ)] をクリックします。
5. スーパーアドミンパスワードを入力します。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

6. [Allow cameras (カメラを許可)] をクリックします。


システムコントローラーから録画を取得する

通常、コンテンツ送信先は、カメラユーザーからの録画や、コンテンツ送信先から削除されたカメラからの録画を受け入れます。しかし、これがサポートされていない場合、AXIS Body Worn Managerではなく、コンテンツ送信先でユーザーやカメラを削除すると、システムコントローラーから録画が転送されない可能性があります。その場合は、USBストレージ装置に転送されなかった録画をダウンロードできます。

注

- 他のトラブルシューティング手順を試す前に、必ずこの手順に従って録画を取得してください。
- 録画をUSBストレージ装置にダウンロードするには、スーパーアドミンパスフレーズを使用して許可される、装着式システムで最高のセキュリティレベルにアクセスする必要があります。

録画をダウンロードする方法:

1.  に移動します。
2. 影響を受けたシステムコントローラーを開きます。
3. [Download recordings (録画をダウンロード)] をクリックします。
4. exFATファイルシステムのUSBストレージ装置を、影響を受けたシステムコントローラーに挿入します。
5. スーパーアドミンパスフレーズを入力します。
6. 録画の暗号化パスフレーズを入力します。
7. [Download (ダウンロード)] をクリックします。

注

ダウンロードした録画を抽出するには、AES-256暗号化アーカイブに対応した7-Zipを使用することをお勧めします。デフォルトのzipアプリケーションは、装着式システムのアーカイブに対応していない可能性があります。


日付と時刻を調整

装着式システムに含まれているすべての装着式カメラは、システムと同じ日付と時刻を受け取ります。デフォルトでは、日付と時刻はDHCPによって提供されるNTPサーバーと同期されます。

重要

- システムの日付と時刻を正確に保つために、NTPサーバーと同期させることをお勧めします。
- 装着式システムの時刻およびタイムゾーンは、コンテンツ送信先の時刻およびタイムゾーンと常に一致している必要があります。
- 装着式システムに設定されている時刻が正しくない場合、時間差によってGPSが録画に位置情報データを提供できないことがあります。
- 録画を証拠資料として使用する場合、正しいシステム時刻が重要になります。

日付と時刻の設定を変更するには:

1. 9 ページ *AXIS Body Worn Manager* を開きます
2.  > [Date and time (日付と時刻)] に移動します。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

システムファームウェア

装着式システム用にさまざまなファームウェアトラックがサポートされています。これにより、**Latest (active) (最新の (アクティブな))** ファームウェアトラックからのすべての最新機能を必要とする場合でも、**Long-term support (LTS) (長期サポート (LTS))** ファームウェアトラックからの安定性を優先させる場合でも、システムに最適なファームウェアを選択できます。ファームウェアアップグレードの支援を通じて、選択したトラックに新しいバージョンが追加されるたびに通知を受け取ることができます。

注

ファームウェアアップグレードの支援を使用するには、まずクラウド拡張機能をオンにする必要があります。24ページクラウド拡張機能(Cloud extensions)を参照してください。

ファームウェアトラックを選択するには、 > [Firmware (ファームウェア)] に移動し、[Change track (トラックを変更)] をクリックします。

システムに最も適したファームウェアトラックの推奨事項については、*AXIS OS*のトラックを参照してください。


システムファームウェアのアップグレード

装着式システムは、リリースされた新しいシステムファームウェアのバージョンを検知します。通知がAXIS Body Worn Managerに表示されます。


注

システムファームウェアの自動検出にはクラウド拡張機能が必要であり、システムに *.bodyworn.axis.cloudへのアクセス権が必要です。

最新のシステムファームウェアをインストールするには:

1.  > [Firmware (ファームウェア)] に移動します。
2. [Upgrade (アップグレード)] をクリックします。

クラウド拡張機能がない場合、または最新のファームウェアバージョンではなく別のファームウェアバージョンを指定する場合:

1.  > [Firmware (ファームウェア)] に移動します。
2. [Choose file (ファイルの選択)] をクリックして、コンピューター上のシステムファームウェアファイルを選択します。
3. [Upload and install (アップロードとインストール)] をクリックします。

システムファームウェアのアップグレードはすぐに反映されます。システム内のすべてのシステムコントローラーがアップグレードされます。アップグレードが完了すると、システムは再起動します。使用中のカメラはドッキング時にアップグレードされます。

注

ファームウェアはaxis.comからダウンロードできます。

システムファームウェアのダウングレード

注

装着式システムに現在インストールされているファームウェアを以前のバージョンにダウングレードするには、システムをリセットする必要があります。

装着式システムのファームウェアを以前のバージョンにダウングレードするには、次の手順に従います。

Axis装着式ソリューション

システムのメンテナンス

1. 45ページシステムのリセット。
2. 新しい装着式システムを作成し、使用するファームウェアバージョンをインストールします。

ファームウェアバージョンレポート

ファームウェアバージョンレポートには、装着式システムに現在属しているすべてのカメラとシステムコントローラーの、現在のファームウェアバージョンが表示されます。システムの一部でなくなったものも含め、すべての装置の以前のファームウェアバージョンに関する情報を取得することもできます。これにより、システムのトレーサビリティと履歴の概要が得られます。それにより、システム管理者は装置のライフタイム全体にわたって装置のステータスを追跡できます。

ファームウェアバージョンレポートは、 > [Firmware (ファームウェア)] からダウンロードできます。

Axis装着式ソリューション

システムコントローラー

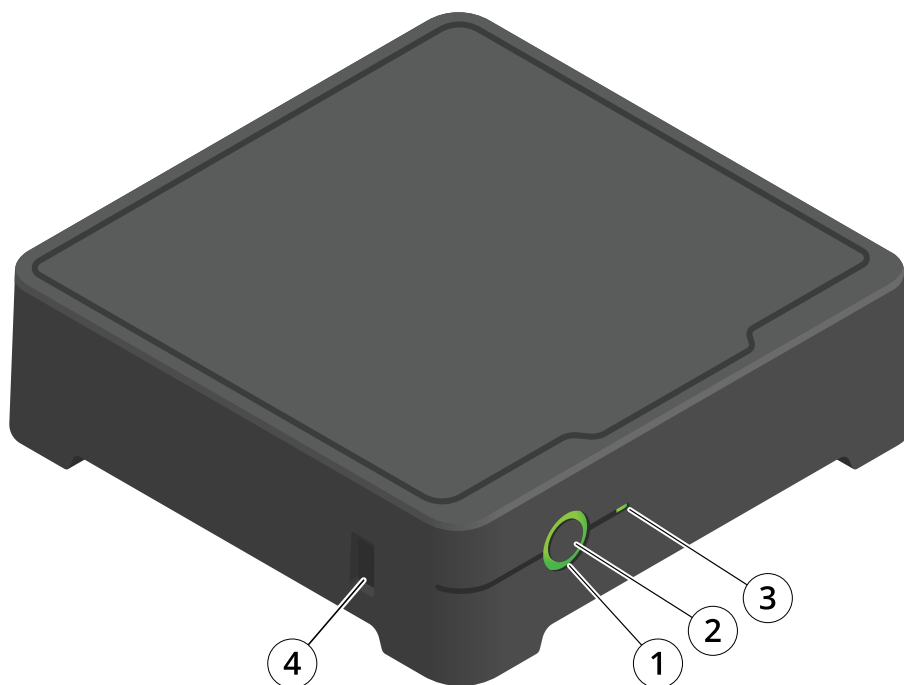
システムコントローラー

システムコントローラーは装着式ソリューションの中心的な統合および管理ポイントです。これは、装着式カメラからコンテンツ送信先まで、証拠が安全な方法で転送されるよう制御します。

注

システムコントローラーはストレージ装置ではありません。システムコントローラーのストレージは、コンテンツがカメラからコンテンツ送信先に転送される時にバッファとして使用されます。装着式システムは、録画が保存されているコンテンツ送信先に接続されて初めて機能します。

製品の概要

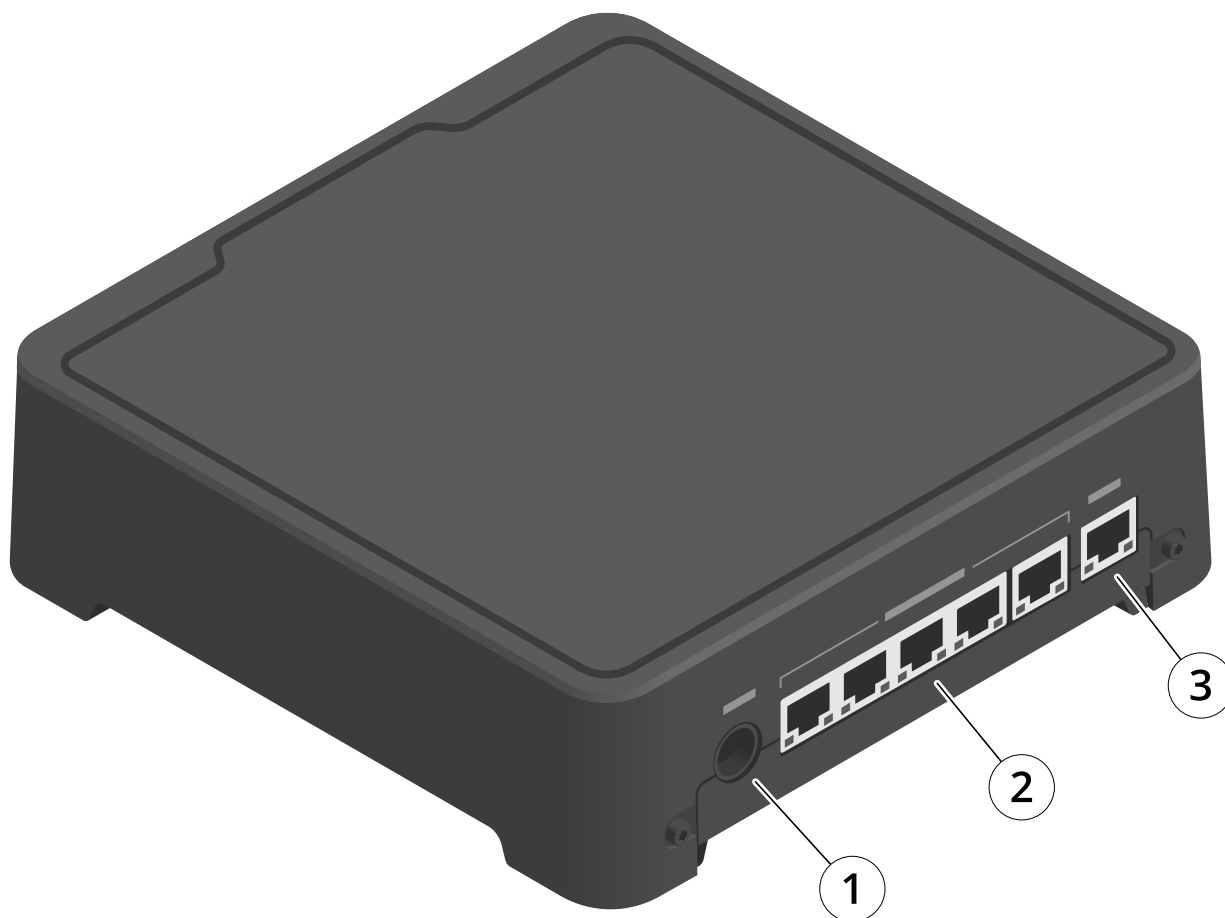


番号	名前	説明
1	ステータスLED	緑: システムコントローラーを使用する準備ができました。 黄色: ストレージ警告。ストレージ容量の残りが8%未満。 赤: 一般的な警告。コンテンツ送信先との接続に失敗しました。またはストレージエラーが発生しました。
2	電源ボタン	52ページ日常的な使用を参照してください。

Axis装着式ソリューション

システムコントローラー

3	ストレージLED	緑: スタンバイ 緑の点滅: ストレージへアクセス中 赤: ストレージエラー
4	USBコネクター	




- 1 電源コネクター
- 2 ドッキングステーションのポート (左から右へ): 5, 4, 3, 2, 1)
- 3 ネットワークコネクター

日常的な使用

目的のアクション	アクション	情報
システムコントローラーの電源を入れます	電源ボタンを押します。	ステータスLEDが黄色に変わります。システムコントローラーが使用可能な状態になると、ステータスLEDが緑色に変わります。

Axis装着式ソリューション

システムコントローラー

システムコントローラーの電源をオフにします	ステータスLEDが黄色に変わるまで 電源ボタン を押し続けます。	シャットダウンは、ステータスLEDが黄色に変わると開始します。ステータスLEDがオフになると、システムコントローラーがオフになります。
拡張システムコントローラーをリモートで再起動する	<ol style="list-style-type: none">1.  に移動します。2. 再起動する拡張システムコントローラーを開きます。3. コンテキストメニューを開きます。4. [Restart (再起動)] をクリックします。	システムコントローラーを再起動すると、進行中のすべてのプロセスが停止し、コントローラーには一時的にアクセスできなくなります。

Axis装着式ソリューション




Axis装着式カメラ

Axis装着式カメラ

装着式カメラの日常的な使用とトラブルシューティングについては、各カメラモデルのユーザーマニュアルを参照してください。

- *AXIS W100 Body Worn Camera*
- *AXIS W101 Body Worn Camera*
- *AXIS W110 Body Worn Camera*
- *AXIS W120 Body Worn Camera*

カメラに関する情報を検索する

1.  に移動します。
2. 探しているカメラを開きます。
3. [Overview (オーバービュー)] タブには、カメラに関する一般的な情報が表示されます。例:
 - **Assigned user (割り当てられたユーザー)**: システムが固定カメラ割り当てを使用している場合、カメラに割り当てられたユーザー。
 - **Serial number (シリアル番号)**: カメラのシリアル番号。
 - **IMEI**  : International Mobile Equipment Identity number (国際移動体装置識別番号)。
 - **SIM card (SIMカード)**  : PINに関する情報。SIMカードがロックされている場合は、PINを入力してロックを解除できます。
 - **State (状態)**: カメラの現在の状態。カメラがドッキングされている場合、ドッキングされているシステムコントローラーが表示されます。カメラがドッキング解除されている場合、ドッキング解除されている時間が表示されます。
4. [Battery health (バッテリーの状態)] をクリックして、カメラのバッテリーに関する情報を表示します。

Axis装着式ソリューション

AXIS Body Worn Assistant

AXIS Body Worn Assistant

AXIS Body Worn Assistantは、以下を実行できるモバイルアプリケーションです。

- 録画されたビデオを見る
- ライブビデオを見る
- 録画の位置情報データを表示する
- コンテンツ送信先でサポートされている場合、録画ビデオにカテゴリや説明を追加する
- 装着式カメラのバッテリーとストレージの残量を確認する
- Daily Use Guideなどのユーザーヘルプにアクセスする
- ブックマークを表示する

AndroidとiOS用のAXIS Body Worn Assistantは、Google PlayとApp Storeでダウンロードできます。

注

- 録画ビデオをモバイル装置に保存することはできません。
- 画像のビジュアルウォーターマークは、AXIS Body Worn Assistantでビデオを再生したときにのみ表示されます。ビジュアルウォーターマークの目的は、作成元を追跡することができない状態で第三者がビデオを拡散することを防止することです。
- 録画は、カメラを接続するまでAXIS Body Worn Assistantで再生することができます。カメラを接続すると、システムコントローラーがコンテンツの配信先に録画を転送し、カメラは空になります。

カメラユーザーをAXIS Body Worn Assistantとペアリングします。

AXIS Body Worn Assistantの使用を開始するには、カメラユーザーをAXIS Body Worn Assistantとペアリングする必要があります。AXIS Body Worn ManagerでQR Code®とPINコードを生成し、AXIS Body Worn Assistantでスキャンして入力します。これにより、安全なペアリングが行われます。



AXIS Body Worn Managerでは、2つの方法でカメラユーザーとモバイル装置をペアリングできます。

ローカルペアリング - 装着式カメラユーザーとモバイル装置にアクセスできます。

リモートペアリング - 装着式カメラユーザーとモバイル装置にアクセスできません。カメラカメラユーザーに電子メールでペアリングリクエストが送信されます。

注

ペアリングを完了するには、ペアリングするカメラをカメラユーザーに割り当てる必要があります。


1.  に移動します。
2. モバイル装置とペアリングするユーザーをクリックします。
3.  をクリックして、ペアリングを開始します。
4. AXIS Body Worn Assistantオプションで **[Pair (ペアリング)]** をクリックします。
5. **[Local pairing (ローカルペアリング)]** または **[Remote pairing (リモートペアリング)]** を選択して **[Next (次へ)]** をクリックします。
6. モバイル装置を1人以上のユーザーとすでにペアリングしている場合:

Axis装着式ソリューション

AXIS Body Worn Assistant

6.1 AXIS Body Worn Assistantで、**[More (その他)]** をタップします。

6.2 **[Paired users (ペアリング済みユーザー)]** をタップします。

6.3  をタップします。

7. AXIS Body Worn ManagerとAXIS Body Worn Assistantの画面に表示される手順に従います。

注

- QR Code®とPINコードの有効期限は24時間です。AXIS Body Worn Managerでユーザーをクリックしてコンテキストメニューを開き、**[Details (詳細)]** をクリックすることで、ペアリングされた機器の詳細が表示されます。
- 装着式カメラの接続をドッキング解除してから5分以内にAXIS Body Worn AssistantにPINコードを入力する必要があります。
- モバイル装置を複数のカメラユーザーとペアリングできます。
- AXIS Body Worn Assistantはカメラユーザーとペアリングされます。つまり、ペアリングしたユーザーにカメラを割り当てると、任意のカメラをAXIS Body Worn Assistantに接続できます。
- AXIS Body Worn Assistantが8週間カメラに接続されていない場合は、ペアリングの有効期限が切れま
す。再接続するには、古いペアリングを削除してから、このセクションの手順に従って新しいペア
リングを作成します。

既存のペアリングの削除

1. AXIS Body Worn Managerで既存のペアリングを削除します。ペアリングされた機器を削除するを参照してください。
2. AXIS Body Worn Assistantを開き、**[More (その他)]** をタップします。
3. **[Paired users (ペアリング済みユーザー)]** をタップします。
4. ペアリングを削除するユーザーをタップします。
5. **[Delete (削除)]** をタップします。
6. 既存のペアリングを削除することを確認します。

AXIS Body Worn Assistantを装着式カメラに接続します。

注

AXIS Body Worn Assistantを装着式カメラに初めて接続する場合は、装着式カメラシステム管理者が、カメラのユーザーをモバイル装置上のAXIS Body Worn Assistantとペアリングする必要があります。

1. モバイル装置上のAXIS Body Worn Assistantを開きます。
2. モバイル装置が複数のカメラユーザーとペアリングされている場合は、接続するユーザーをリストから選択します。
3. **[Connect (接続)]** をタップします。
4. 画面の指示に従います。

Axis装着式ソリューション

AXIS Body Worn Assistant

AXIS Body Worn Assistantユーザーガイド

目的のアクション	必要なアクション
1フレーム早送りまたは巻戻し	1フレーム早送りするには、ビデオ右側をダブルタップします。1フレーム巻き戻すには、ビデオ左側をダブルタップします。
録画されたビデオをスローモーションで見る	ビデオの任意の場所を長押しします。
録画されたビデオを見る	[Recordings (録画)] を開きます。新しい録画を見るには、下方向にスワイプして画面を更新する必要がある場合があります。
カメラからライブビデオを見る	[Live view (ライブビュー)] を開きます。
カメラのバッテリーとストレージの残量を確認する	[Camera (カメラ)] を開きます。
録画されたビデオにカテゴリを追加する	カテゴリを追加するビデオを開きます。定義済みのカテゴリから1つ選択します。詳細については、57ページカテゴリと注記を参照してください。
録画されたビデオに注記を追加する	注記を追加するビデオを開きます。注記を加えます。[Information (情報)] ビューを閉じると、注記が保存されます。詳細については、57ページカテゴリと注記を参照してください。

カテゴリと注記

カテゴリと注記には、録画に関する追加情報が含まれています。たとえば、調査員または証拠管理システムが案件の作成やファイルの管理を行う際などにこの情報を役立てることができます。AXIS Body Worn Assistantを使用すると、カメラ上にある録画にカテゴリと注記を追加できます。

注

これらの機能は、コンテンツの保存先でサポートされている場合に利用できます。

ブックマーク

録画でブックマークを作成すると、後で最も関連性の高い情報を見つけやすくなります。ブックマークは、AXIS Body Worn Assistantビデオプレーヤーのタイムラインに表示され、その間をスキップできます。ブックマークは録画のメタデータの一部です。つまり、コンテンツ送信先でも同様の方法でブックマークを使用できます。

ブックマークを作成するには、録画中に装着式カメラの録画ボタンを1回だけ押します。

注

この機能は、コンテンツ送信先でサポートされている場合に利用できます。

Axis装着式ソリューション

トラブルシューティング

トラブルシューティング

技術的な問題、ヒント、解決策

装着式カメラに問題がある場合は、help.axis.comでカメラのユーザーマニュアルを確認してください。

	問題	原因	解決策
ドッキングステーション	ドッキングステーションのLEDが点灯しません。	ドッキングステーションに電源が供給されていません。	電源をドッキングステーションに接続します。ドッキングステーションにはPoEで給電することはできません。
システムコントローラー	AXIS IP Utilityでシステムコントローラーが見つからない。	古いバージョンのAXIS IP Utilityを使用しています。	AXIS IP Utilityバージョン4.14以降にアップグレードしてください。
		システムコントローラーがオフになっています。	電源をシステムコントローラーに接続します。
		システムコントローラーがネットワークに正しく接続されていません。	システムコントローラーをネットワークに接続します。
拡張システムコントローラーとの接続が完全に失われた。	拡張システムコントローラーが8週間以上システムに接続されなかったため、証明書の有効期限が切れています。	Axisサポートまでお問い合わせください。	
コンテンツ送信先	コンテンツ送信先に録画が表示されない。	コンテンツ送信先が利用できません。	AXIS Body Worn Managerの35ページダッシュボードでコンテンツ送信先のステータスを確認します。
		同時オフロードが多い場合、転送速度に影響します。	AXIS Body Worn Managerで装置を開き、転送ステータスを確認します。録画が転送されるまで待ちます。転送ステータスの履歴は転送の完了後3日間表示されます。
		録画の転送が完了する前に、カメラのドッキングが解除されました。	AXIS Body Worn Managerで装置を開き、転送ステータスを確認します。カメラをドッキングし、すべての録画が転送されるまで待ちます。転送ステータスの履歴は転送の完了後3日間表示されます。
		装着式システムの時間が、コンテンツ送信先の時刻と一致していません。	装着式システムとコンテンツ送信先が一致時間を持っていることを確認してください。

Axis装着式ソリューション

トラブルシューティング

問題	原因	解決策
	ライセンスがありません。	ライセンスを確認し、必要に応じて追加のライセンスを購入してください。
録画の解像度が正しくありません。	AXIS Body Worn Managerの画像解像度の設定が間違っています。	AXIS Body Worn Managerでカメラプロファイルに移動し、正しい画像解像度を設定します。
録画が削除されました。	コンテンツ送信先のリテンション時間が短くなっています。例: コンテンツの保存場所のリテンション時間が7日間で、カメラが接続された時点で8日前に録画されたビデオがある場合は、コンテンツの保存先に転送された時点で録画は削除されます。	コンテンツが保存されている場所のリテンション時間を、より大きな値に変更します。
録画はカメラからシステムコントローラーに転送されますが、システムコントローラーからコンテンツへの保存は行われません。	カメラがコンテンツの宛先から削除されています。	カメラが割り当てられているユーザーの名前を変更し、システムコントローラーを再起動します。
	通常、コンテンツ送信先は、カメラユーザーからの録画や、コンテンツ送信先から削除されたカメラからの録画を受け入れます。しかし、これがサポートされていない場合、AXIS Body Worn Managerではなく、コンテンツ送信先でユーザーやカメラを削除すると、システムコントローラーから録画が転送されない可能性があります。	48ページシステムコントローラーから録画を取得するを参照してください。
	装着式システムの時間が、コンテンツ送信先の時刻と一致していません。	装着式システムとコンテンツ送信先の時刻が一致していることを確認してください。
	カメラとドッキングステーションの間の接続が悪いため、カメラからシステムコントローラーに録画をオフロードするのに時間がかかりすぎます。カメラが正しくドッキングされていません。ドッキングコネクタが汚れているか、摩耗しています。ドッキングベイのポゴピンが汚れているか、摩耗しています。	すべてのコネクタが清潔であることを確認します。 help.axis.com にあるカメラのユーザーマニュアルのクリーニングを参照してください。

Axis装着式ソリューション

トラブルシューティング

	問題	原因	解決策
	装着式システムとコンテンツ送信先との接続が失われている。	コンテンツ送信先のIPアドレスなど特定の設定が変更されました。	42ページ接続ファイルを変更する
AXIS Body Worn Assistant	ペアリングを完了できない。	装着式カメラとモバイル装置の間のワイヤレス範囲には制限があります。	装着式カメラとモバイル装置の間の距離を短く取ってください。
	装着式カメラに接続できません。		
	[Live view (ライブビュー)]を使用できない。		
	ビジュアルウォーターマークに完全なユーザーIDが表示されない。	ビジュアルウォーターマークにはユーザーIDの最初の12文字のみが表示されます。	ユーザーIDが12文字より長い場合は、識別しやすい部分を先頭を含めることをお勧めします。
	装着式カメラに接続できません。	ペアリングの有効期限が切れているか、カメラが装着式システムから削除されています。	システム管理者に問い合わせて、新しくペアリングしてもらってください。必要な情報を受け取ったら、アプリを開いて、56ページ既存のペアリングの削除の手順に従います。
RFIDリーダー	システムコントローラーに接続してもリーダーのLEDが緑色に変わりません。	装着式システムでサポートされていないRFIDリーダーを使用しています。	External RFID Card Reader 125kHz + 13.56MHz with NFC (USB) を使用してください。
ビデオ	テキストオーバーレイに位置情報データがない。	位置情報データがオフになっています。	カメラプロファイルで位置情報データをオンにします。
		録画の開始時にGPS信号がありません。	-
	テキストオーバーレイにユーザーIDがない。	カメラユーザーにユーザーIDがありません。	カメラユーザーにユーザーIDを追加します。
ホルスターセンサー	ホルスターに装着していない場合に録画が開始されない。	ホルスターセンサーがカメラに接続されていません。	カメラをホルスターセンサーに接続する場合は、カメラをドッキング解除してから10分以内に、ホルスターセンサーがカメラの範囲内にある必要があります。通常の場合、範囲は5 ~ 10 m (16 ~ 33フィート) です。
		ホルスターセンサーがキャリブレーションされていません。	ホルスターセンサーをキャリブレーションします。詳細については、 Yardarm サポートページ をご覧ください。
	ホルスターセンサーがカメラとのペアリングまたは接続を行わない。	Holster Aware Setup モバイルアプリケーションがホルスターセンサーに接続されています。	Holster Aware Setup モバイルアプリケーションを閉じて、ペアリングプロセスを再開します。

Axis装着式ソリューション

トラブルシューティング

一般的なトラブルシューティングの手順

装着式システムで問題が発生している原因がわからない場合は、以下のいずれかの対策を実行することができます。

カメラ

1. 装着式カメラを再起動します。
 - カメラがドッキングされている場合は、カメラのドッキングを解除し、もう一度ドッキングします。
 - カメラのドッキングが解除されている場合は、電源ボタンを使用して電源を切り、再度電源を入れます。
2. 最新のファームウェアを使用して、装着式カメラをアップグレードします。システムファームウェアのアップグレードを参照してください。
3. カメラをドッキングし、AXIS Body Worn Managerを通してシステムから削除します。これでカメラは工場出荷時の設定に戻ります。もう一度カメラをシステムに追加します。カメラのリセットを参照してください。

システムコントローラー

1. システムコントローラーを再起動します。システムコントローラーを参照してください。再起動中は、システムコントローラストレージ上のログと録画はそのまま残ります。
2. 最新のファームウェアを使用してシステムコントローラーをアップグレードします。システムファームウェアのアップグレードを参照してください。
3. 以下の方法のいずれかを使用して、拡張システムコントローラーを工場出荷時の設定にリセットします (これは、装着式システムが最初に作成されたシステムコントローラーには適用されません)。
 - 拡張システムコントローラーのリセットは、AXIS Body Worn Managerから行うことをお勧めします。拡張システムコントローラーのリセットを参照してください。
 - 上記の方法が不可能な場合は、拡張システムコントローラーにアクセスし、**[Reset system controller (システムコントローラーのリセット)]** をクリックします。
4. 装着式システムを工場出荷時の設定にリセットします (システムのリセットを参照)。

発生する可能性のある問題を特定する方法の詳細については、39ページシステムコントローラストレージを監視するおよび39ページカメラがドッキング解除されていた期間の確認も参照してください。

さらに支援が必要ですか？

サポートに連絡する

さらにサポートが必要な場合は、axis.com/supportにアクセスしてください。

Axisとのデータの共有

当社では、製品がどのように使用され、動作しているかに関する匿名データを収集しています。これにより、製品とユーザー体験の改善が可能になります。お客様の個人情報は収集していません。詳細については、[プライバシーポリシー](#)をご覧ください。

プライバシーの設定を変更するには、 > **[Privacy (プライバシー)]** に移動してください。

